

静岡市南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家

自分づくり 仲間づくり 未来づくり

利用の手引き

(学校利用団体向け)



しずおか教師塾 15期生

〒428-0504 静岡市葵区井川 3055-1

電 話

054-260-2761

F A X

054-260-2219

アドレス

kankyou-kyousei@city.shizuoka.lg.jp

HP URL

<https://www.city.shizuoka.lg.jp/kyoiku/s002397.html>



目 次

- ◆ 宿泊棟・多目的ホール(体育館) 見取り図 . . . 1
- ◆ キャンプセンター(テントサイト等) 案内図 . . . 2
- ◆ 利用の流れ . . . 3
- ◆ 利用の取り消しについて . . . 4
- ◆ 利用に伴う費用について . . . 4
- ◆ 利用のキャンセル・キャンセル代について . . . 7
- ◆ 書類記入例 . . . 8
(活動計画参考例 10 ページ ~ 11 ページ)
- ◆ 事前打合せ(下見)について . . . 15
- ◆ 利用上のお願い・留意点等 . . . 16
- ◆ 活動プログラムについて . . . 19
(雨プログラムについて 29 ページ ~ 30 ページ)
- ◆ 緊急対応について . . . 31
- ◆ 井川自然の家のアクセスマップ . . . 38

ようこそ 静岡市南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家へ

2014年6月12日、
静岡・山梨・長野の3県10市町村に跨る、南アルプスとその麓の地域が、
自然環境の保全と人間の営みの両立を実践している地域として認められ、
ユネスコの「生物圏保存地域※¹」に登録されました。
井川自然の家は、この「生物圏保存地域」の「移行地域※²」にあります。

南アルプスの恵みを受けて育まれた「豊かな自然」に包まれながら
多種多様な活動プログラムを実施することで、
「たくましさ」「自主性」を育む「**自分づくり**」。
「思いやり」「協調性」を育む「**仲間づくり**」。
「SDGs」や「オクシズ」の学びが広がる「**未来づくり**」。
これらのすべてを実現できます。

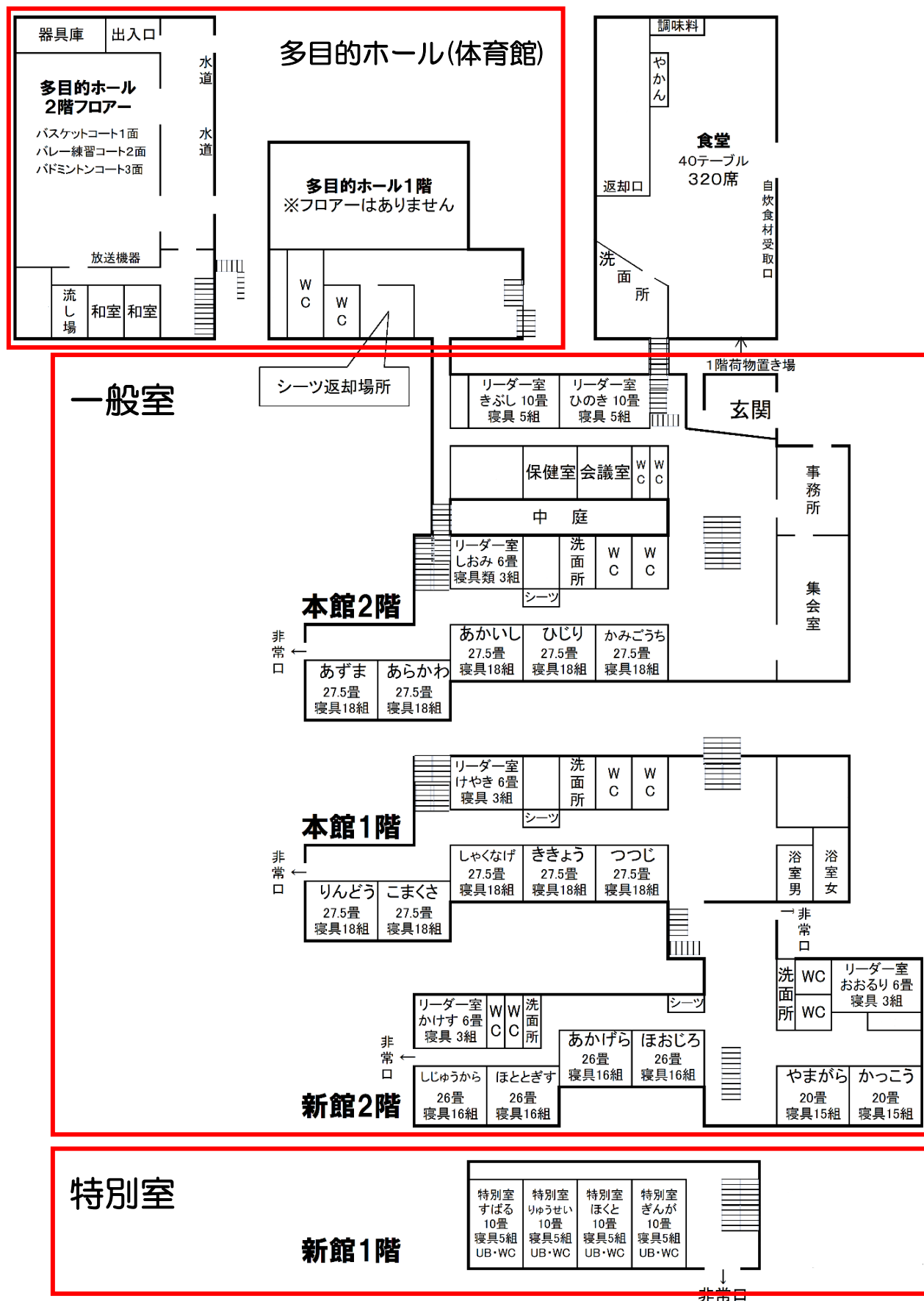
地球規模の問題が頻発している今、
これから生きていく子どもたちにとって、
井川自然の家での
「**自分づくり**」「**仲間づくり**」「**未来づくり**」は、
きっと子どもたちの「生きる力」へとつながるでしょう。



※1 「生物圏保存地域」は、ユネスコの自然科学セクターで実施される「人間と生物圏計画」の中心事業の一つで、自然環境の保全と人間の営みの両立を実践している地域として、各国国内委員会からの推薦に基づいてユネスコが認め、指定し、その知恵や取組を世界的なネットワークで共有し、国際的な協力関係を構築する地域です。また、「ユネスコエコパーク」は、日本ユネスコ国内委員会が定めた「生物圏保存地域」の呼称になります。

※2 生物圏保存地域では、「多種多様性の保全」「学術的研究支援」「経済と社会の発展」の3つの機能が求められ、これらを果たすために「核心地域」「緩衝地域」「移行地域」の3つの地域が設定されています。井川自然の家は「人が暮らしを営み、地域や経済の持続可能な発展が図られる地域」いわゆる「移行地域」にあります。

見取り図



キャンプセンター(テントサイト等) 案内図



利用の流れ

① 前年度に利用の予約
※ 前年度に利用日決定通知をお送りします。

② 井川自然の家から書類送付(前年度3月)
※ 利用に係る必要書類等をお送りします。
※ 井川自然の家HP(アドレスは表紙参照)からも書類をダウンロードできます。

③ 各書類へ必要事項を記入 ※ 記入例 → 8ページ参照

④ 事前打合せ(下見)の1週間前までに「活動計画表の素案」を電子メールまたは郵送、FAXで、お送りください。

⑤ 事前打合せ(下見)の実施 → 15ページ参照
※ 代表者の方が事前打合せ(下見)の実施希望日をご連絡ください。Tel 054-260-2761
※ 本所にて行い、所員が対応します。
※ 事前打合せの際に、利用に係る必要書類等を提出していただくことも可能です。

⑥ 井川自然の家へ書類の提出 電子メールまたは郵送、持参
※ 利用予定日の1か月前(または事前打合せ時)まで
【必ず提出するもの】
ア 自然の家利用許可申請書 イ 活動計画表 ウ 宿泊者名簿
※ 「ウ 宿泊者名簿」のみ利用者全員の氏名を掲載した「しおり」による当日提出も可能。
【利用を希望される場合、提出するもの】
エ 食事申込表 オ 備品申込表
【利用する本所施設・学校の区分により、提出するもの】
カ 自然の家使用料減額・免除承認申請書 → 5・14ページ参照

⑦ 受付完了 ※ 井川自然の家へ書類が届きましたら受付完了です。

⑧ 「自然の家利用許可書」等の受け取り
※ 事務手続き上、利用日当日にお渡しする場合もございます。
【必ず受け取るもの】
◆ 自然の家利用許可書
【利用する本所施設・学校の区分により受け取るもの】
◆ 自然の家使用料減額・免除承認通知書 ◆ 納入通知書

⑨ 利用日当日に欠席者がいましたら、出発前に連絡をお願いします。

井川自然の家入所 利用開始

⑩ 利用日当日に提示 または 提出
※ 引率責任者の方は事務所へお越しください。
【必ず持参するもの】
◆ 自然の家利用許可書 ◆ しおり
◆ 宿泊者名簿(「しおり」での提出可能)
【利用する本所施設・学校の区分により持参するもの】
◆ 自然の家使用料減額・免除承認通知書
◆ 使用料の領収証書(写し可能)

⑪ 最終日 食事代・備品使用料の確認
※ 引率の責任者の方は事務所へお越しください。

井川自然の家退所 利用終了

⑫ 退所時に食事代・備品使用料の「請求書」(領収書)「利用アンケート」を手渡しまたは後日提出
※ 指定の口座(7ページ参照)へ食事代・備品使用料の速やかなお振込をお願いします。
※ 利用アンケートの提出をお願いします。

【 納入通知書について (使用料の減額・免除については5ページを参照) 】
※ 本所より納入通知書をお送りします。納入通知書に記載されている使用料の事前納入をお願いします。当日に現金による納入も可能です。なお、事前に納入した使用料は、当日の人数・テントの張数が減っても返金できません。

利用の取り消しについて

井川自然の家は静岡市の社会教育施設です。井川自然の家条例により禁止されている活動と判断した場合、利用の許可を取り消したり、活動の途中で利用を停止したり、今後のご利用をお断りする場合があります。

【禁止されている活動】

◆ 政治活動 ◆ 宗教活動 ◆ 営利目的の活動 ◆ 公の秩序、善良の風俗を害するおそれのある活動 など

ご利用に伴う費用について

1 宿泊棟 一般居室使用料 (本館2・1階 新館2階)

区分	お一人様 1泊	お一人様 日帰り
3歳～中学生及びその指導者	310円	150円
高校生～29歳及びその指導者	620円	310円

2 宿泊棟 特別室使用料 (新館1階)

区分	お一人様 1泊	お一人様 日帰り
3歳～中学生及びその指導者	540円	270円
高校生～29歳及びその指導者	1,080円	540円

【参考】「自然の家使用料減額・免除承認申請書」による申請により、宿泊棟の使用料が免除になる場合があります。
※ 詳細は次ページ参照

3 キャンプセンター(テントサイト等)使用料 (テント・タープ1張単位)

	区分	ドーム型インタルテント (定員3名)	大型インタルテント (定員6名)	持込テント 持込タープ
A	小中学生及びその指導者	150円	150円	無料
B	高校生及びその指導者	530円	690円	400円
C	特別支援学校、幼・保・こども園の 3歳～中学生及びその指導者	450円	580円	340円
	特別支援学校、幼・保・こども園の 高校生～29歳及びその指導者	530円	690円	400円

【参考】「自然の家使用料減額・免除承認申請書」による申請により、キャンプセンター(テントサイト等)の使用料が減額になる場合があります。
※ 詳細は次ページ参照

4 多目的ホール(体育館)使用料

天候に関わらず、活動上、**確実に利用する場合のみ利用の申請**をしてください。**雨天時の活動で利用する場合は、利用の申請をしない**でください。

区分	午前 9:00～12:00	午後 13:00～17:00	午前・午後 9:00～17:00	夜間 18:00～21:00	午後・夜間 13:00～21:00	全日 9:00～21:00
3歳～中学生	1,480円	1,700円	2,880円	3,190円	4,480円	5,860円
高校生～29歳	1,750円	1,960円	3,360円	3,720円	5,170円	6,710円

※ 使用料は主たる活動者の区分になります。主たる活動者が混在する場合は人数の多い区分になります。人数が同じ場合は上位の区分になります。

【参考】「自然の家使用料減額・免除承認申請書」による申請により、多目的ホールの使用料が免除または半額になる場合があります。
※ 詳細は次ページ参照

5 使用料の減額・免除について

使用料の減額・免除の申請を行う場合は、「自然の家使用料減額・免除承認申請書」を提出してください(25 ページ参照)。

区分	自然の家(宿泊棟) 使用料	多目的ホール(体育館) 使用料	キャンプセンター (テントサイト等)使用料
静岡市内の小・中学校	免除	免除	免除なし
視覚特別支援学校	免除	免除	減額
聴覚特別支援学校			※P4 の表の A 区分の 額になります。
特別支援学校			
静岡市外の小・中学校	免除なし	減額(半額)	免除なし
静岡市内・市外の高等学校			
保育園	免除なし	減額(半額)	減額
幼稚園			
こども園			

6 食事代 ※ 利用予定日の6日前より食事のキャンセル代が生じます。

(1) 食堂でのお食事

朝食	昼食	夕食
700 円	750 円	950 円

※ 食事のメニューについては 13 ページ参照

(2) お弁当

幕の内弁当	おにぎり2個入り弁当	おにぎり3個入り弁当
850 円	650 円	750 円

※ お弁当はすべてパック茶が付いています。パック茶なしの場合は 50 円引きになります。

(3) 自炊セット

カレーセット・米なし	カレーセット・米80g(0.6合)	カレーセット・米120g(0.8合)	カートンドッグ
500 円	600 円	650 円	680 円

※ カートンドッグ一人分の内容…コッパパン2個、ウィンナー2本、スライスチーズ1枚、ケチャップ1個、キャベツ適量、パックジュース1本

6 シーツ代

シーツ代	400 円 / 人	布団・枕が汚れた際は、別途クリーニング代を請求させていただきます場合があります。
------	-----------	--

7 ごみの持ち帰りについて(※ ごみ袋を必ず持参してください。)

炊飯活動で出た生ごみは、分別をしてコンポストへ入れてください。

その他のごみの回収はできません。お持ち帰りにご協力ください。

8 備品使用料

用途	品目	金額		備考
		小中学校	高等学校	
テント用 備品	寝袋の上に掛ける毛布	100 円	150 円	・ 防寒用に使用できます。
	寝袋の下に敷く毛布	100 円	150 円	・ 銀マットの代わりに使用できます。
	寝袋	150 円	250 円	・ 夏用の寝袋です。
野外活動用 備品	飯ごう	70 円	150 円	・ 米5合炊き用です。
	大なべ	70 円	150 円	・ カレー6人～10人用です。
	小なべ	70 円	100 円	・ カレー1人～5人用です。
	ざる	50 円	70 円	
	ポウル	50 円	70 円	
	まな板	50 円	100 円	・ 班で2人以上あると良いです。
	ほうちょう	50 円		・ 班で2人以上あると良いです。
	やかん	70 円		
	さいばし	50 円		
	おたま	50 円		
	しゃもじ	50 円		
	フライパン	70 円		
	フライ返し	50 円		
	なた	50 円		
	鉄板	120 円	400 円	

※ テント用備品については、1泊分の料金になります。2泊する場合は2回分の料金になります。

※ 野外活動用備品については、例として、夜・朝の2回利用する場合は2回分の料金になります。

用途	品目	金額		備考
		小中学校	高等学校	
体験用備品	スコップ(平/剣)	50 円		・ 先端が平型4本、剣型 35 本
	バケツ	50 円		
	くわ	50 円		
	のこぎり	50 円		
杉板焼き体験	杉板	250 円 / 1 枚		※ 1 つかまどに最大6人で活動できます。 ※ かまど1つにつき、薪が1束必要です。 ・ 使用しなかった場合、料金は発生しません。

※ 野外活動用備品については、例として、夜・朝の2回利用する場合は2回分の料金になります。

9 消耗品等 費用

品目	金額	備考
バーベキュー用炭	800 円	・ 1 箱3 k g
薪	600 円	・ 1 束
ログファイヤー(着火剤付)	400 円	・ 1 個
キャンプファイヤー	5,000 円	・ 事前予約が必要です。 ・ 集会広場かキャンプセンター前で実施してください。
ミニキャンプファイヤー	2,500 円	・ ミニキャンプファイヤーの薪等については、通常のキャンプファイヤーの薪等の半分程度になります。
キャンプファイヤー用トーチ	250 円	・ 1 本
木のペンダント(あな有り)	150 円	・ 1 個
木のペンダント(あな無し)	100 円	・ 1 個
ラミネートフィルム	40 円	・ 葉っぱのしおり用 ・ 使用しなかった場合、料金は発生しません。

10 貸し出し可能備品一覧（※使用料はかかりません）

備品名	備考
無線機(トランシーバー)	※ 原則として指導者全員にお持ちいただきます。
放送用アンプ	・ CD 可能、マイク有
ラジオ体操のCD	・ 多目的ホール(体育館)には常設の放送設備があります。
延長コード	・ 朝のつどい等でご利用ください。
拡声器	・ コード型、ドラム型の両方があります。
モニターおよびDVDプレイヤー	
プロジェクター	・ パソコンは持参してください。
移動式スクリーン	
火の神の衣装・杖	・ 大人1人分 ※ 子ども用の衣装は所員にご相談ください。
LEDキャンドルライト	・ LEDキャンドルナイトでご利用ください。 ・ 21 個貸し出し可能です。
燭台	・ LEDキャンドルナイトでご利用ください。
グルーガン	・ グルースティックは持参してください。
ラミネーター	・ ラミネートフィルムは持参または購入してください。
小刀	・ 50 個程度貸し出し可能です。
調理体験用のカセットコンロ	・ 20 台程度貸出可能です。 ※ カセットボンベは持参してください。

※ 利用の際は事前にご相談ください。

利用のキャンセル・キャンセル代について

1 利用のキャンセルについて

利用をキャンセルされる場合は、井川自然の家へ直接ご連絡ください。☎ 054-260-2761

2 使用料のキャンセル代について

使用料のキャンセル代は発生しません。

※ ただし、利用日までに事前納入したものについては、返金できません。

3 食事のキャンセル代について

原則として、**利用日の6日前から**はキャンセル代をいただきます。

※ 利用日の7日前までに食数を確定してください。食数の変更がある場合は必ずご連絡ください。

※ 利用日の6日前から前日までのキャンセルの場合は、食事代の**7割をご負担**いただきます。

※ 利用日当日のキャンセルの場合は、食事代の**全額をご負担**いただきます。

(例)



4 備品使用料のキャンセル代について

原則として備品使用料のキャンセル代は発生しません。

5 緊急時のキャンセル代について

通常の利用が困難かつ緊急性の高い事態が生じた際、本所の緊急対応として利用の中止または利用の自粛要請(自粛依頼)を行う場合があります。

※ 原則として、使用料・備品使用料のキャンセル代は発生しません。

※ 食事のキャンセル代については、利用の中止または利用の自粛要請(自粛依頼)に利用予定者が応じず、**改めて利用予定者からキャンセルを申し出た場合、申し出た日時から入所予定日までの日数に応じて、キャンセル代を請求**します。

6 振込先について ※ 振込手数料はご利用者のご負担になります。

振込先名称	一般社団法人 みんぐるいかわ
ゆうちょ銀行からお手続きされる場合	記号 12360 番号 56449201
ゆうちょ銀行以外の金融機関からお手続きされる場合	店名 二三八 (ニサンハチ) 店番 238 普通預金 口座番号 5644920
問い合わせ先	一般社団法人 みんぐるいかわ 加藤 ☎ 054-260-2761

書類記入例

ア 自然の家利用許可申請書（提出必須） ※利用の1か月前までに電子メールまたは郵送、持参してください。1か月以内の利用の場合は速やかに提出してください。

- この書類は井川自然の家ホームページからダウンロードできます。

小学生(男性)35名(女性)35名・指導者(男性)3名・指導者(女性)2名の小学校が「一般室」「多目的ホール(体育館)」「キャンプセンター(テントサイト)」を利用する場合

(表)

様式第1号(第2条関係)

自然の家利用許可申請書

ご記入日
令和 7 年 4 月 1 日

学校の住所・電話番号・学校長のお名前
住所 静岡市葵区井川3055-1
申請者 氏名 〇〇市立〇〇小学校
校長 井川 太郎
電話 054-260-2761

「教育活動の一環として利用するため」と記入してください。

宿泊棟への入室時刻と、退室時刻を記入してください。

「団体」「新館1階個室以外」を囲みます。

指導者の人数は、当日に、引率する教職員の人数を記入してください。

利用の予約時間帯の欄に丸を記入してください。

天候に関わらず、活動上、確実に利用する場合のみ利用の申請をしてください。雨天時の活動等で利用予定の場合は、利用の申請をしないでください。

(裏)

利用期間	令和 7 年 5 月 8 日 12時から 5 月 9 日 10時まで				
区分	男	女	指導者男	指導者女	合計
15歳未満の者(3歳未満の者を除く。)及びその指導者	35	35	3	2	75
15歳以上の青少年(30歳未満の者をいう。)及びその指導者					
その他の者(3歳未満の者を除く。)					
合計	35	35	3	2	75

利用者の年齢・性別に応じて、人数を記入

テント種類	使用数	泊数	合計
ドーム型レンタルテント(児童用)	35	1	35
大型レンタルテント(大人用)	4	1	4

テント種類(持ち込みテント・ドーム型レンタルテント・大型レンタルテント)・使用数・泊数をご記入ください。合計は使用数×泊数の値を記入してください。

利用責任者	住所	静岡市葵区井川 3055-1	
氏名	美区 花子	電話番号	054-260-2761

(注) 中学校の生徒である者及びこれに準ずる者は、15歳未満の者の区分としてください。

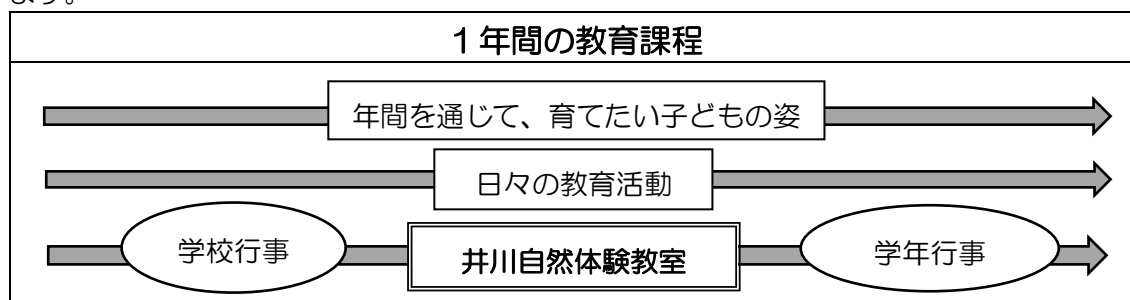
学校の住所・電話番号・当日引率される教職員の代表者(学年主任等)のお名前を記入してください。

活動計画について

<活動計画のポイント>

その1 自然体験教室の「目標」を設定しましょう！

年間を通じて設定されている「学校教育目標」「学年目標(学級目標)」、そして、子どもの実態をふまえ、「自然体験教室」で、子どもの「何を育てたいのか＝目標」を明確にします。



※ 年間を通じて子どもを育てるための教育活動の一つとして、自然体験教室を位置付けます。

その2 設定した「目標」と「活動プログラム」を一致させましょう！

活動プログラムは「目標を実現するための手だて」です。活動プログラムを行うことが目的ではありません。目標と活動プログラムが一致するほど、自然体験教室を通じての子どもの成長が一層図られます。

- ★ 目標に応じた「活動プログラム」を選択します(19～30ページをご参照ください)。
- ★ 各活動プログラムでの「ふり返し＝価値付け」をお願いします。子どもの自信につながります。
- ★ 雨天時の活動プログラムを選びます(29～30ページをご参照ください)。

その3 選択した「活動プログラム」をもとに、活動計画を立てましょう！

どの活動プログラムも「時間に余裕をもたせる」ことがポイントです。指導者も、子どもも、ゆったりとした気持ちで活動しましょう！時間に余裕があることで、天候の急変等にも落ち着いて対応することができます。

【活動時間の目安】

	1日目	2日目	3日目
朝	学校からバス移動	朝食・荷物整理等	朝食・清掃・荷物整理等
午前	入所式＋約1時間の活動	合計で約3時間の活動	合計で約3時間の活動
午後	合計で約3時間の活動	合計で約3時間の活動	退所式＋学校へバスで移動
夜	合計で約1時間～1時間半の活動	合計で約1時間～1時間半の活動	

その4 活動計画のご参考にしてください。

目標	井川自然の家での自然体験活動を通して、 【自分づくり】自分の役割を責任もって取り組む。 【仲間づくり】友達にやさしい声掛けをしたり、協力して取り組んだりする。 【未来づくり】自然愛護の意識を高めたり、オクシズならではの自然や文化にふれたりする。			例 1		
	1日目	2日目	3日目	1日目	2日目	3日目
6:00		6:00 起床・身支度	6:00 起床・身支度	6:00		6:00 起床・身支度
6:30		6:30 カートンドッグ作り	6:30	6:30		6:30 カートンドッグ作り
7:00		7:00 ★自分づくり	7:00 朝食準備(食事係)	7:00		7:00 朝食準備(食事係)
7:30		7:30 朝食(炊飯棟)	7:30 朝食(食堂)	7:30		7:30 朝食(食堂)
8:00		8:00 朝食(炊飯棟)	8:00	8:00		8:00 朝食(炊飯棟)
8:30	学校出発	8:30	8:30 清掃・荷物移動	8:30		8:30 清掃・荷物移動
9:00		9:00 テント撤収	9:00	9:00		9:00 所内樹木ハイク
9:30	横沢バス停休憩	9:30 ★仲間づくり	9:30	9:30		9:30 ★自然を満喫・仲間づくり
10:00		10:00 荷物移動(軒下)	10:00	10:00		10:00
10:30	井川自然の家到着・入所式	10:30 ウォークラリー(往路)	10:30	10:30		10:30 てしゃまんくの秘宝探し
11:00	ネイチャーフィッシング	11:00 ★仲間づくり	11:00	11:00		11:00 ★自然を満喫
11:30	★自然を満喫・仲間づくり	11:30	11:30	11:30		11:30 昼食(炊飯棟)
12:00		12:00	12:00	12:00		12:00
12:30	昼食(集会広場)	12:30 昼食(ピクニック広場)	12:30	12:30		12:30 退所式
13:00		13:00	13:00	13:00		13:00 自然の家出発
13:30	テント設営	13:30 ウォークラリー(復路)	13:30	13:30		13:30
14:00	★自然を満喫・仲間づくり	14:00 ★仲間づくり	14:00	14:00		14:00 横沢バス停休憩
14:30		14:30	14:30	14:30		14:30
15:00		15:00	15:00	15:00		15:00 学校到着・帰校式
15:30	カレーライス作り	15:30 井川自然の家到着・部屋移動	15:30	15:30		15:30 解散
16:00	★自分づくり・仲間づくり・未来づくり(SDGs)	16:00 木のペンダント作り	16:00	16:00		16:00
16:30		16:30	16:30	16:30		16:30
17:00		17:00 夕食準備(食事係)	17:00	17:00		17:00
17:30	夕食(炊飯棟)	17:30 夕食(食堂)	17:30	17:30		17:30
18:00	片付け	18:00	18:00	18:00		18:00
18:30		18:30 キャンプファイヤー	18:30	18:30		18:30
19:00		19:00 ★自然を満喫・仲間づくり	19:00	19:00		19:00
19:30	ナイトハイク+星空観察	19:30	19:30	19:30		19:30
20:00	★自然を満喫・未来づくり(オクシズ)	20:00 入浴	20:00	20:00		20:00
20:30		20:30	20:30	20:30		20:30
21:00	就寝準備	21:00 就寝準備	21:00	21:00		21:00
21:30		21:30	21:30	21:30		21:30
22:00	消灯・就寝	22:00 消灯・就寝	22:00	22:00		22:00

★ 上表に記載した活動プログラムは、一例です。設定した目標及び、活動の所要時間に留意しながら、活動プログラムを選択し、計画をご立案ください。

目標	井川自然の家での自然体験活動を通して、 【自分づくり】自分の役割を責任もって取り組む。目標に向かってやり抜く。 【仲間づくり】友達にやさしい声掛けをしたり、協力して取り組んだりする。 【未来づくり】自然愛護の意識を高めたり、オクシズの歴史や文化にふれたりする。			例 2		
	1日目	2日目	3日目	1日目	2日目	3日目
6:00		6:00 起床・身支度	6:00 起床・身支度	6:00		6:00 起床・身支度
6:30		6:30 カートンドッグ作り	6:30	6:30		6:30 カートンドッグ作り
7:00		7:00 ★自分づくり	7:00 朝食準備(食事係)	7:00		7:00 朝食準備(食事係)
7:30		7:30 朝食(炊飯棟)	7:30 朝食(食堂)	7:30		7:30 朝食(食堂)
8:00		8:00 朝食(炊飯棟)	8:00	8:00		8:00 朝食(炊飯棟)
8:30	学校出発	8:30 テント撤収	8:30	8:30		8:30 清掃・荷物移動・退所式
9:00		9:00 ★仲間づくり	9:00	9:00		9:00 大日古道ハイキング
9:30	横沢バス停休憩	9:30 荷物移動(軒下)	9:30	9:30		9:30 ★自分づくり・仲間づくり
10:00		10:00	10:00	10:00		10:00 宮向渡船場到着・渡船利用
10:30	井川自然の家到着・入所式	10:30 ウォークラリー(往路)	10:30	10:30		10:30
11:00	所内樹木ハイク	11:00 ★仲間づくり	11:00	11:00		11:00 井川本村散策
11:30	★自然を満喫・仲間づくり	11:30	11:30	11:30		11:30 ★仲間づくり・未来づくり(オクシズ)
12:00		12:00	12:00	12:00		12:00 昼食(ピクニック広場)
12:30	昼食(集会広場)	12:30 昼食(ピクニック広場)	12:30	12:30		12:30 昼食(ピクニック広場)
13:00		13:00	13:00	13:00		13:00
13:30	テント設営	13:30 ウォークラリー(復路)	13:30	13:30		13:30 ビジターセンター出発
14:00	★自然を満喫・仲間づくり	14:00 ★仲間づくり	14:00	14:00		14:00
14:30		14:30	14:30	14:30		14:30
15:00		15:00	15:00	15:00		15:00 横沢バス停休憩
15:30	カレーライス作り	15:30 井川自然の家到着・部屋移動	15:30	15:30		15:30
16:00	★自分づくり・仲間づくり・未来づくり(SDGs)	16:00	16:00	16:00		16:00 学校到着・帰校式
16:30		16:30	16:30	16:30		16:30 解散
17:00		17:00 夕食準備(食事係)	17:00	17:00		17:00
17:30	夕食(炊飯棟)	17:30 夕食(食堂)	17:30	17:30		17:30
18:00	片付け	18:00	18:00	18:00		18:00
18:30		18:30 ナイトハイク	18:30	18:30		18:30
19:00		19:00 ★自然を満喫・未来づくり	19:00	19:00		19:00
19:30	キャンプファイヤー	19:30 入浴	19:30	19:30		19:30
20:00	★自然を満喫・仲間づくり	20:00	20:00	20:00		20:00
20:30		20:30	20:30	20:30		20:30
21:00	就寝準備	21:00 就寝準備	21:00	21:00		21:00
21:30		21:30	21:30	21:30		21:30
22:00	消灯・就寝	22:00 消灯・就寝	22:00	22:00		22:00

★ 「井川湖渡船利用」については、井川支所(054-260-2211)へ直接、お問い合わせください。

目標	井川自然の家での自然体験活動を通して、		例3	
	【自分づくり】ルールを守ったり、自分のことは自分でできたりする。			
	【仲間づくり】友達にやさしい声掛けをしたり、協力して取り組んだりする。			
	【未来づくり】自然愛護の意識を高めたり、オクシズならではの文化を体験したりする。			
1日目			2日目	
6:00	出発式・学校出発	6:00	起床・身支度	
6:30		6:30		
7:00		7:00		
7:30		7:30	朝食(食堂)	
8:00		8:00		
8:30		8:30	清掃・荷物移動	
9:00		9:00		
9:30		9:30	杉板焼き体験	
10:00		10:00	★自然を満喫・未来づくり(オクシズ)	
10:30		10:30		
11:00	所内ミニハイキング	11:00		
11:30	★自然を満喫・未来づくり(オクシズ)	11:30		
12:00	昼食(集会広場)	12:00	昼食(食堂)	
12:30		12:30		
13:00		13:00	退所式	
13:30	ウォークラリー(往路)	13:30	井川自然の家出発	
14:00	★仲間づくり	14:00		
14:30		14:30	横沢バス停休憩	
15:00	ピクニック広場到着・休憩	15:00		
15:30	ウォークラリー(復路) ※学年でまとめて帰所	15:30	学校到着・帰校式	
16:00	自然の家到着	16:00	解散	
16:30		16:30		
17:00	夕食準備(食事係)	17:00		
17:30	夕食(食堂)	17:30		
18:00		18:00		
18:30	キャンプファイヤー	18:30		
19:00	★自然を満喫・仲間づくり	19:00		
19:30		19:30		
20:00	入浴	20:00		
20:30		20:30		
21:00	就寝準備	21:00		
21:30		21:30		
22:00	消灯・就寝	22:00		

★ 上表に記載した活動プログラムは、一例です。設定した目標及び、活動の所要時間に留意しながら、活動プログラムを選択し、計画をご立案ください。

井川自然の家での自然体験活動を通して、		例 4		
【自分づくり】自分の役割を責任もって取り組む。目標に向かってやり抜く。				
【仲間づくり】友達にやさしい声掛けをしたり、協力して取り組んだりする。				
【未来づくり】食材や資源を有効に活用し、自然愛護の意識を高める。				
1 日 目		2 日 目		
6:00	出発式・学校出発	6:00	起床・身支度	
6:30		6:30		
7:00		7:00		
7:30		7:30	朝食(食堂)	
8:00		8:00		
8:30		8:30	清掃・荷物移動	
9:00		9:00		
9:30		横沢バス停休憩	9:30	杉板焼き体験
10:00			10:00	★自然を満喫・未来づくり(オクシズ)
10:30		富士見峠到着	10:30	
10:45	入所ハイイク ※学年でまとまって移動	11:00		
11:30	★自分づくり	11:30		
11:45	ピクニック広場到着・昼食	12:00	昼食(食堂)	
12:30	ウォークラリー	12:30		
13:00	★仲間づくり	13:00	退所式	
13:30		13:30	井川自然の家出発	
14:00	井川自然の家着・入所式	14:00		
14:30	木のペンダント作り	14:30	横沢バス停休憩	
15:00		15:00		
15:30	カレーライス作り	15:30	学校到着・帰校式	
16:00	★自分づくり・仲間づくり・未来づくり	16:00	解散	
16:30	(SDGs)	16:30		
17:00		17:00		
17:30		17:30		
18:00	夕食(炊飯棟)	18:00		
18:30	片付け	18:30		
19:00		19:00		
19:30	多目的ホールでレクリエーション	19:30		
20:00	★自分づくり・仲間づくり	20:00		
20:30		20:30		
21:00	就寝準備	21:00		
21:30		21:30		
22:00	消灯・就寝	22:00		

イ 活動計画表(提出必須)

- ※ 事前打合せ(下見)の一週間前までに「活動計画表の素案」を電子メールまたは郵送、FAXでお送りください。
- ※ 事前打合せ(下見)後、正式に決定した「活動計画表」をご利用の1か月前までに電子メールまたは郵送してください。1か月以内のご利用の場合は速やかに提出してください。
- ・ この書類は井川自然の家ホームページからダウンロードできます。
- ・ 他利用者との調整で入所時刻、退所時刻、入浴時間をご相談させていただく場合があります。
- ・ 多目的ホール(体育館)は、ご予約の時間帯内でご利用ください。

入所式では「所員の話(あいさつ)」を入れてください。

先生方が備品の数・洗浄具合を確認し、キャンプセンターへご返却ください。すべて返却後、事務所へ連絡してください。

活動計画表			学校用
利用学校名【 〇〇市立〇〇小学校 】			
利用責任者名【 葵区 花子 】			電話番号【 054-260-2761 】
活動の目標			
・自分の役割に責任を持って取り組む。 学校で設定した活動の目標をご記入ください。 ・友達に優しい声掛けをしたり、協力して取り組んだりする ・自然愛護の意識を高めたり、井川ならではの自然や文化に触れたりする。			
5月8日(水)	5月9日(木)	5月10日(金)	
8:30 学校出発	6:00 起床・荷物整理・身支度	6:00 起床・荷物整理・身支度	
10:30 井川自然の家到着 入所式	6:30 朝食・カートドッグ作り	7:00 朝食準備(食事係)	
11:00 ネイチャーフィーリングサーキット	8:00 朝食(炊飯棟)	7:30 朝食(食堂)	
12:30 昼食(集会広場)	9:00 テント撤収	8:30 清掃・荷物移動	
13:30 テント設営	10:30 ウォークラリー(往路)	9:00 杉板焼き体験	
15:30 カレーライス作り(炊飯棟)	12:30 昼食(ピクニック広場)	12:00 昼食(集会広場)	
17:30 夕食(炊飯棟)	13:30 ウォークラリー(復路)	13:00 退所式	
18:00 片付け	15:30 井川自然の家到着	13:30 井川自然の家出発	
19:30 キャンプファイヤー	17:00 夕食準備(食事係)	15:30 学校到着	
21:00 就寝準備	17:30 夕食(食堂)	16:00 解散	
22:00 消灯・就寝	18:30 星の語+学年レク(多目的ホール)		
	19:30 入浴		
	21:00 就寝準備		
	22:00 消灯・就寝		
起床時刻、就寝時刻、食堂での食事の開始時刻の厳守をお願いします。			
シート数(宿泊人数)		留意事項	
本館2階	38	★時刻を厳守してください！	
本館1階	37	① 起床: 4月～10月 6:00 11月～3月 6:30	
新館2階		② 食堂での食事: 朝食 7:30～ 昼食 12:00～ 夕食 17:30～	
新館1階		③ 入浴: 16:00～21:45	
合 計	75	④ 消灯: 22:00 時刻厳守にご協力をお願いします。	
★キャンプセンター(ナンドサイト)での食事時間は適宜決めてください。 ★大浴場のご提供や入浴時刻は、ご利用の人数、他利用者との調整で希望に添えない場合があります。			

教職員の分も含め、階別にシートを利用される方の人数を記入してください。

ウ 宿泊者名簿(提出必須)

- ※ 利用の1か月前までの提出(1か月以内のご利用の場合は速やかな提出)を原則としますが、**利用日当日**に利用者全員の氏名が掲載された「しおり」による提出も可能です。
- ・ この書類は井川自然の家ホームページからダウンロードできます。

南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家宿泊(利用)者名簿															
団体名 代表者名	〇〇市立〇〇小学校										代表者連絡先	054-260-2761			
宿泊人数	男性	38 名	女性	37 名	合計	75 名									
利用日	令和 7年 5月 8日(水) ～ 令和 7年 5月 10日(金)														
No.	指導者	氏名	性別	年齢	職業	入所日	退所日	No.	指導者	氏名	性別	年齢	職業	入所日	退所日
1	○	井川 太郎	男	52	教頭	5/8	5/10	21		上坂本 五郎	男	11	小学生	5/8	5/10
2		葵区 花子	女	41	教諭	5/8	5/10	22		...	...	...	...	5/8	5/10
3		薬沢 次郎	男	29	教諭	5/8	5/10	23		...	...	...	...	5/8	5/10
4		雨蔵 一郎	男	35	教諭	5/8	5/10	24		...	...	...	...	/	/
5	○	門間 空子	女	47	養護教諭	5/8	5/10	25		...	...	...	...	/	/
6		小河内 三郎	男	11	小学生	5/8	5/10	26		...	...	...	...	/	/
7		...	...	...	...	/	/	27		...	...	...	...	/	/
8		...	...	...	...	/	/	28		...	...	...	...	/	/
9		...	...	...	...	/	/	29		...	...	...	...	/	/
10		...	...	...	...	/	/	30		...	...	...	...	/	/
11		...	...	...	...	/	/	31		...	...	...	...	/	/
12		...	...	...	...	/	/	32		...	...	...	...	/	/
13		...	...	...	...	/	/	33		...	...	...	...	/	/
14		...	...	...	...	/	/	34		...	...	...	...	/	/
15		...	...	...	...	/	/	35		...	...	...	...	/	/
16		...	...	...	...	/	/	36		...	...	...	...	/	/
17		...	...	...	...	/	/	37		...	...	...	...	/	/
18		...	...	...	...	/	/	38		...	...	...	...	/	/
19		...	...	...	...	/	/	39		...	...	...	...	/	/
20		...	...	...	...	/	/	40		...	...	...	...	/	/

※ 日帰り利用の場合は、入所日と退所日を同一の日にしてください。

※ 指導者とは監督やコーチ、団長、リーダーなど常時その団体組織としての指導者を示し、臨時的な者ではありません。

また、個人、家族でのご利用の場合は、指導者の区分はございません。ご了承ください。

指導者の方は指導者欄へ「○」を記入してください。

学生にあたる方は、大学生(大学院生)・高校生・中学生・小学生と記入してください。

「指導者」と「児童・生徒」を分けて記入してください。

工 食事申込表 (希望時のみ提出)

- ※ 申込をする場合は、利用の1か月前までに電子メールまたは郵送してください。
 1か月以内の利用の場合は速やかに提出してください。
- この書類は井川自然の家ホームページからダウンロードできます。
 - 利用日の7日前までに食数を確定してください。食数の変更がある場合は必ずご連絡ください。
 - 原則として、利用日の6日前からキャンセル代をいただきます。

* 食事申込表				学校用	
利用学校名【〇〇市立〇〇小学校】		電話番号【054-260-2761】			
利用責任者名【 葵区 花子 】		食事担当者名【 葉沢 次郎 】			
5月8日(水)		5月9日(木)		5月10日(金)	
合計 76食		合計 76食		合計 76食	
カートンドッグ 76人 (学校75人+写真屋1人)		ごはん食 76人 (学校75人+写真屋1人)		ごはん食 76人 (学校75人+写真屋1人)	
第1炊飯棟41 5人×7班=35人 6人×1班=6人		第1炊飯棟41 5人×7班=35人 6人×1班=6人		第1炊飯棟41 5人×7班=35人 6人×1班=6人	
第2炊飯棟35 5人×7班=35人		第2炊飯棟35 5人×7班=35人		第2炊飯棟35 5人×7班=35人	
合計 76食		合計 76食		合計 76食	
カレーセット米80g 76人 (学校75人+写真屋1人)		幕の内弁当 76人 (学校75人+写真屋1人)		幕の内弁当 76人 (学校75人+写真屋1人)	
第1炊飯棟41 5人×7班=35人 6人×1班=6人		第1炊飯棟41 5人×7班=35人 6人×1班=6人		第1炊飯棟41 5人×7班=35人 6人×1班=6人	
第2炊飯棟35 5人×7班=35人		第2炊飯棟35 5人×7班=35人		第2炊飯棟35 5人×7班=35人	
合計 76食		合計 76食		合計 76食	
からあげ 76人 (学校75人+写真屋1人)		からあげ 76人 (学校75人+写真屋1人)		からあげ 76人 (学校75人+写真屋1人)	
第1炊飯棟41 5人×7班=35人 6人×1班=6人		第1炊飯棟41 5人×7班=35人 6人×1班=6人		第1炊飯棟41 5人×7班=35人 6人×1班=6人	
第2炊飯棟35 5人×7班=35人		第2炊飯棟35 5人×7班=35人		第2炊飯棟35 5人×7班=35人	
合計 76食		合計 76食		合計 76食	
カレーセット米80g 76人 (学校75人+写真屋1人)		カレーセット米80g 76人 (学校75人+写真屋1人)		カレーセット米80g 76人 (学校75人+写真屋1人)	
第1炊飯棟41 5人×7班=35人 6人×1班=6人		第1炊飯棟41 5人×7班=35人 6人×1班=6人		第1炊飯棟41 5人×7班=35人 6人×1班=6人	
第2炊飯棟35 5人×7班=35人		第2炊飯棟35 5人×7班=35人		第2炊飯棟35 5人×7班=35人	
合計 76食		合計 76食		合計 76食	
○やかん数... 19		○テーブル番号 1 番 ~ 19 番		○テーブル番号 1 番 ~ 19 番	
☆事前打ち合わせでお知らせしたもの					
昼食で弁当を注文する場合に記入					
月日(曜日)	時刻	配達場所	弁当メニュー	数	
5月9日(木)	12:00	ピクニック広場	幕の内弁当	76	
5月10日(金)	11:00	食堂	おにぎり弁当 A 2個入り バック茶なし	76	
☆所内で受け取りの場合は「食堂」に記入 ☆自然の家エリア内はすべて食堂での受け取りです。					
食事以外での注文					
日()	時刻	配達場所	メニュー	数	

弁当等を持参される場合は「持参」と記入してください。

カレーセットやカートンドッグといった自炊材料を注文する際は、教職員、カメラマンを含めた人数で炊飯棟ごとの班分けした班数を必ず記入してください。

数にきめ、人数の内訳を必ず記載してください。カメラマンも食数にきめ、人数の内訳を必ず記載してください。

おにぎり弁当を注文される場合は「2個入り or 3個入り」「A or B」を必ず記入してください。またバック茶が不要な場合は「バック茶なし」と記入してください。

配達を希望する場合は「月日」「時刻」「配達場所」を記入してください。未記入の場合は食堂での受け渡しになります。

<食事メニュー>

朝食 700円

ごはん食



【おかず】
・目玉焼き
・玉子焼き
【つけあわせ】
・たくあん
・さくら大根
・青かっぱ
【みそ汁の具】

※ 日によって組み合わせが変わります。

昼食 750円

牛丼 マーボー丼



カレーライス



夕食 950円



【主菜】
・からあげ
・ハンバーグ
・とんかつ

※ 主菜によってつけあわせの組み合わせが変わります。詳しくは「食事成分表」をご確認ください。

弁当

幕の内弁当 850円
※ バック茶なしの場合は50円引き

おにぎり弁当 750円
(2個入り 650円)
※ バック茶なしの場合は50円引き

上の写真-A
(ハンバーグ、香巻、厚焼き玉子)

下の写真-B
(一口カツ、ウィンナー、厚焼き玉子)

自炊セット

カレーセット 1人あたり500円
米80g付き...600円
米120g付き...650円

カートンドッグ 1人あたり680円
パン2個 ウィナー2本 スライスチーズ1枚
ケチャップ1個 キャベツ適量 バックジュース1本

※ 1L牛乳パック、1人2個必要です。
※ B4判サイズのアルミホイルを、1人4枚ご用意ください。



アレルギー対応は、基本的に該当食物の除去となります。詳細についてはご相談ください。

その他のメニュー

○ おにぎり1個...150円 ○ 250mL紙パック飲料(お茶、オレンジ、アップル)...130円
○ ご飯とお汁...200円 ○ ご飯のみ...150円
○ 菓子パン(あんパン、ジャムパン)1個...要相談

才 備品申込表 (希望時のみ提出)

- ※ 申込をする場合は、利用の1か月前までに電子メールまたは郵送してください。
1か月以内の利用の場合は速やかに提出してください。
- この書類は井川自然の家ホームページからダウンロードできます。
 - 原則として備品使用料のキャンセル代は発生しません。

備品申込表 【学校用】

利用学校名【〇〇市立〇〇小学校】 電話番号【054-260-2761】

利用責任者名【葵区 花子】 備品担当者名【葉沢 次郎】

利用日 **5月 8日**

テント	子ども	指導者	計	備考
大型				6人まで
ドーム	35	4	39	3人まで
持込				
上				
下	70	4	74	
寝袋				55まで

ナイトプログラム **5月 8日**

	計
キャンプファイヤー	1
キャンプファイヤー	
キャンプファイヤー用トーチ	5
グファイヤー	

森林体験 他 月 日

	一般	指導者	計
コップ(平/割)			
パケツ			
くわ			
のこぎり			

5. クラフト材料 **5月 9日**

	子ども	指導者	計	備考
木のペンダント	83		83	穴あり・穴なし
ラミネート				*使用しなかった場合、料金はかかりません
杉板	70		70	*使用しなかった場合、料金はかかりません
焼き 薪(束)	18		18	

※子ども、指導者の区分は料金請求の区分です。指導者の欄に記入したものは、指導者分として請求します。

※ 1つのかまどに最大6人で活動できます。
※ かまど1つにつき、薪が1束必要です。

夜・朝と使用する場合は、該当品の個数を「〇」で囲んでください。なお、使用料は2回分の使用料となります。

力 自然の家使用料減額・免除承認申請書 (減額・免除の対象は5ページ参照)

- ※ 利用の1か月前までに電子メールまたは郵送してください。
1か月以内の利用の場合は速やかに提出してください。
- 「自然の家使用料減額・免除承認」の申請により使用料が減額または免除されます。
 - この書類は井川自然の家ホームページからダウンロードできます。

様式第4号 (第5条関係)

自然の家使用料減額・免除承認申請書

令和 7年 5月 1日

(宛先) 静岡市長

学校の住所・校長名・電話番号
住所 静岡市葵区井川3055-1
申請者 氏名 〇〇市立〇〇小学校 校長 井川 太郎
電話 054-260-2761

「教育活動の一環として利用するため」と記入してください。

静岡市自然の家条例第14条の規定により南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家の使用料の減額・免除を受けたいので、次のとおり申請します。

減額・免除を受けようとする理由 **教育活動の一環として利用するため**

区分 (該当箇所に〇を付してください)

区分	団体	個人
令和 7年 5月 8日 10時から 5月 10日 14時 まで		

団体丸で囲んでください。

宿 泊 棟	単価	人数	泊数	金額
15歳未満の者(3歳未満の者を除く。)及びその指導者	310円	75人	1泊	23,250円
15歳以上の青少年(30歳未満の者をいう。)及びその指導者	円	人		円
その他の者(3歳未満の者を除く。)	円	人		円

多目的ホール

区分	利用日/時間区分 (該当する区分に〇を付してください)	金額
(該当する口にレ点を記入してください)	利用日 午前 午後 午前・午後 夜間 午後・夜間 全日	
□15歳未満の者(3歳未満の者を除く。)及びその指導者	5/9	3,190円
□15歳以上の青少年(30歳未満の者をいう。)及びその指導者		円
		円

利用日、予約時間帯(丸を記入)、金額を記入してください。

キャンプセンター	テント種類	単価	使用数	泊数	金額
		円			円
		円			円
		円			円
		円			円

(注) 中学校の生徒である者及びこれに準ずる者は、15歳未満の者の区分としてください。

多目的ホール体育館は、天候に関わらず、活動上、確実に利用する場合のみ減額・免除の申請をしてください。雨天時の活動等で利用予定の場合は、減額・免除の申請をしないようお願いいたします。

事前打合せ(下見)について

井川自然の家では『静岡市自然の家条例施行規則』第7条に基づき、ご利用いただく学校利用団体の皆様に、本所での事前打合せ(下見)をお願いしています。

1 事前打合せ(下見)に向けて

- (1) 当日引率される代表者の方(学年主任等)が下記の内容を連絡してください。

① 実施希望日

※ 事前打合せ(下見)は**利用予定日の概ね1か月以上前**に実施してください。

② お越しになる教職員の皆様の合計人数

③ 当日の本所への到着予定時刻

※ 新静岡ICから本所まで概ね**1時間程度**かかります。

- (2) 代表者の方よりお聞きした実施希望日をもとに、所内で事前打合せ(下見)の実施日を調整し、代表者の方へ改めてご連絡いたします。
- (3) **事前打合せ(下見)の1週間前までに「活動計画表の素案」を郵送または電子メール、FAX**でお送りください。

2 事前打合せ(下見)当日

- (1) 主な流れ

① 利用時の留意点等の説明

② 活動計画の確認

③ 部屋・食堂・炊飯棟等の案内

④ 教職員の皆様によるウォークラリーコース等の下見

※ 当日の天候によっては順序を入れ替える場合があります。

- (2) 来所の際は、運転に十分気を付けていただき、時間に余裕をもってお越しください。
- (3) 事前打合せ(下見)は、半日～終日かかります。**昼食等、必要な飲食物を必ずご持参**ください。
- (4) お越しになる教職員の人数に余裕がある場合は、館内で所員と事前打合せを行うグループと、ウォークラリーコース等の下見を行うグループに分かれて実施することも可能です。

3 事前打合せ(下見)終了後

- (1) 活動計画を見直していただき、必要に応じて加筆修正し、正式に決定した活動計画表を改めて提出してください。
- (2) 当日の円滑な運営に向けて、ご不明な点等がございましたら、お気軽にご連絡ください。

利用上のお願い・留意点等

井川自然の家は静岡市の社会教育施設です。下記の内容についてご理解とご協力をお願いします。また、原則セルフサービスです。使用後の場所・物については**すべてもと通り**にしてください。

1 禁止事項について

- ・ 直火 ・ 指定場所以外での花火・喫煙 ・ 大音量の音楽 ・ 盲導犬以外のペットの持込

2 消灯時刻・起床時刻について

- ・ 消灯時刻は「**22時00分**」、起床時刻は「**6時00分**」(11月～3月は「6時30分」)です。
- ※ 消灯時刻後・起床時刻前は静かにお過ごしください。
- ※ 消灯時刻が守れるように「**21時30分**」には活動を終了し、就寝の準備を始めてください。
- ※ 消灯放送・起床放送が必要な場合は、お申し出ください。

3 入所式・退所式について

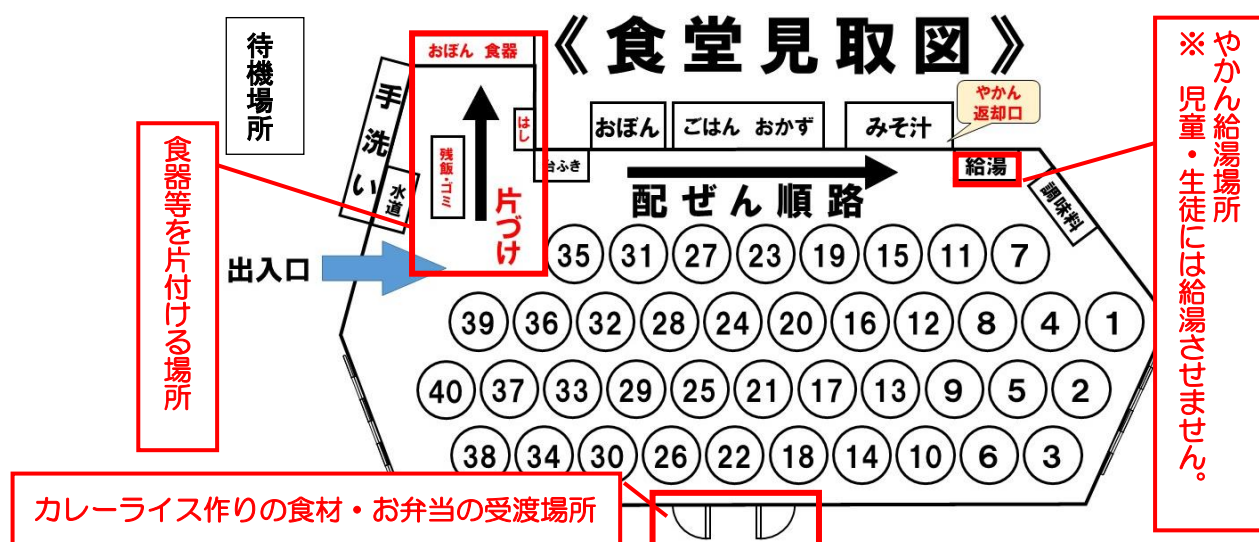
- ・ 入所式、退所式の実施場所や開始時刻については、事前打合せ(下見)の際にご相談ください。
- ※ 実施される場合は「活動計画表」に必ず記載してください。
- ・ 入所式では、「**所員の話(あいさつ)**」を入れてください。
- ・ 必要に応じて、放送用アンプ(CD可能・マイク有)をお貸しできます。

4 食堂での食事について

- ・ 食事の開始時刻をお守りください。
- ※ 同日に団体の複数利用がある際は、食事の開始時刻を調整させていただく場合があります。

朝食開始時刻	昼食開始時刻	夕食開始時刻
7時30分	12時00分	17時30分

- ・ 食堂入室前に、食堂前ホールの水道での**手洗い・手指の消毒**をしてください。



- ・ 食事の準備・配膳・片付けは**セルフサービス**です。

準備	① 開始時刻の15分前に、食事担当の教職員と食事係(各テーブル1名)が食堂に集合する。 ② 食事係は、ふきん(本所の食堂部が用意)で自分の班のテーブルを拭く。 食事担当の教職員+αでやかんに給湯する。※ 児童・生徒には給湯させません。 ③ 食事係は、自分の班のテーブルにソース・しょうゆを各1つずつ運ぶ。 ④ 食事係は、自分の班のテーブルに教職員によって給湯済のやかんを運ぶ。 ⑤ 開始時刻の概ね5分前に、食事係以外の児童・生徒は食堂前のホールに集合する。
配膳	⑥ 一列でカウンターに移動し、おぼん、箸、湯飲みを持って「ごはん→おかず→汁物」の順番で受け取る。 ⑦ テーブルに全員そろったら、食事を始める。 ※ 持参した水筒に食堂で提供するやかんのお茶を入れることができます。
片付け	⑧ 各テーブルで食器、残飯等をまとめる。 ※ テーブルの下に落ちた物も拾い、残飯等と一緒にまとめてください。 ⑨ 各テーブルの代表者(1～2名)が指定のポリバケツに⑧でまとめた残飯・ごみを捨て指定された場所に食器ごとに置く。 ※ ご利用の人数により、⑧⑨と異なる片付け方を行う場合があります。 ⑩ 所定の場所にやかん・ソース・しょうゆを片付ける。 ⑪ ふきんでテーブルをふく。 ⑫ いすを整頓する。

5 入浴について

- 本所は**水が大変貴重**です。入浴の際、**水を出しっぱなしにしない**よう、気をつけてください。
- シャンプー、ボディソープを用意してあります。タオル等は持参してください。
- 原則として、大浴場を利用していただきます。
- ※ 大浴場は本館1階に男女別に各1つずつあります。なお、湯水による水不足等の場合は、片方の浴場を男女交代でご利用いただく場合があります。

【大浴場利用時のお願い】

- 浴室の扉を閉めてください。
- タオルを浴槽に入れないでください。
- 体を拭いてから脱衣所に出てください。
- 体を洗ってから浴槽に入ってください。
- シャワー等の温度の上げ過ぎにお気を付けください。**
- 浴室、脱衣所で走らないでください。
- ドライヤーの使用については事前打ち合わせ（下見）時に所員にご相談ください。
- ※ お持ち込みのドライヤーを使用したり、部屋でドライヤーを使用したりすると、ブレーカーが落ちる恐れがあります。

6 寝具・シーツについて

- 各階のシーツ置き場のシーツをお使いください。連泊の際は、各自で保管してください。
- ※ 1人シーツ**2枚**(シーツとシーツの間に体を入れる)、枕カバー**1枚**を使用してください。
- 寝具やシーツの使い方・片付け方は、**部屋の掲示物**を参考にしてください(各部屋の代表者を集め、掲示物をもとに事前に説明されることを推奨します)。
- なお、寝具は元の場所へ整頓して戻してください。
- ※ 退所前に**指導者の方は、元のように整頓されているかチェック**をお願いします。
- ※ 布団は**折り目を手前にして二つ折り**で片付けます。連泊する場合は部屋の隅に畳んでおきます。
- ※ 毛布は**折り目を目安にしてきれいにたたんで**ください。
- 退所日の朝、シーツを5人分くらいにまとめ、**多目的ホール(体育館)1階のシーツ返却場所(本ページ最下部参照)**へ運んでください。

7 多目的ホール(体育館)の利用について

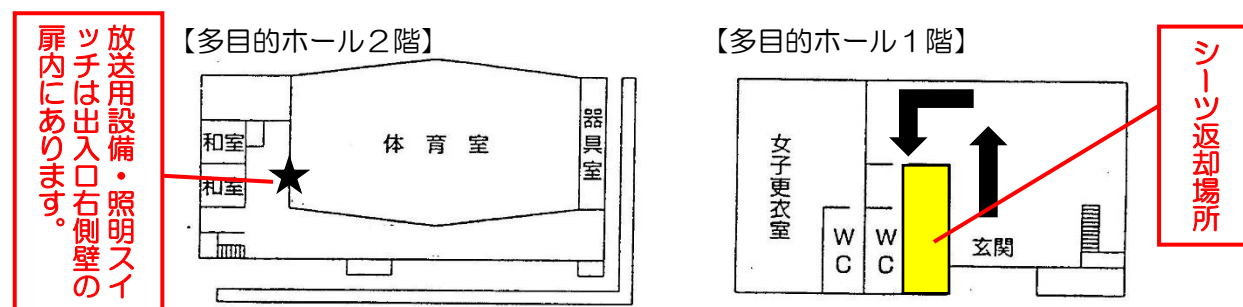
- 多目的ホール(体育館)は、**キャンプセンター(テントサイト等)の利用者の緊急避難場所**となっています。キャンプセンター(テントサイト等)の利用者の緊急避難が生じた場合、避難を最優先とするため、**多目的ホール(体育館)の利用を中止**していただく場合があります。
- 使用料は**4ページ**をご参照ください。
- ※ **「自然の家使用料減額・免除承認申請書」**による申請により、多目的ホールの**使用料が減額または免除**になる場合があります(5ページ・15ページ参照)。
- 利用可能時間について

午前	午後	夜間
9:00 ~ 12:00	13:00 ~ 17:00	18:00 ~ 21:00

- 広さ・備品について

広さ・備品等	◆ バレーボールコート2面 バレーボール支柱・ネット有 ◆ バスケットボールコート1面 ◆ バドミントンコート3面 バドミントン支柱・ネット有 ◆ 簡易ステージ・デジタルタイマー1台・放送設備(マイク・CD) ※ ボール・ラケット・シャトル等はご持参ください。
--------	---

- 防火のため、屋内でのろうそく等の火気の利用はできません。キャンドルナイトを行う際はLEDキャンドルをお貸しできます。
- 利用後の清掃をお願いします。



8 炊飯棟の利用について

- 本所は**水が大変貴重**です。**水を出しっぱなしにしない**でください。
- 野外炊飯のカレーライス作りでは、生ものの取り扱いに留意してください。
- 使用後、**かまどや水道の清掃・片付け**をしてください。
- 薪を束ねてあった針金は、炊飯棟の柱の「**針金置き場**」にかけてください。
- 薪は灰になるまで燃やし切り、**完全に消えたことを確認**して、**備え付けの灰入れ(金属の容器)**に入れてください。なお、退所前に灰入れの炭を集会広場東側の灰捨て場に処分してください。
- 囲炉裏は、**所員の許可**を得てから利用してください。
※ 囲炉裏を利用した際は、確実な火の始末と片付けをしてください。
- **炊飯活動やで出た生ごみは、お持ち帰りいただくか、分別をしてコンポストへ入れてください。**
その他のごみの回収はできません。ごみ袋を必ずご持参いただき、お持ち帰りください。
また、**かまどや囲炉裏でごみを燃やさない**でください。

9 備品について

- 備品は、原則としてキャンプセンターの管理棟で貸出・返却を行います(2ページ参照)。
- 返却の際は、**きれいに洗浄**し、**貸出数の不足がない**よう、確認してください。
- 本所で洗剤、スポンジ、たわし(金だわし)を用意します。飯ごう・鍋の**内側はスポンジ**、**外側はたわし(金だわし)**を使用して洗浄してください。すべての備品を返却後、事務所へ連絡してください。

【備品担当の教職員を中心に下記の内容を必ずチェックしてください。】

- ① 飯ごうやなべの周りに「すす」がついていないか。
- ② 飯ごうやなべの内側に「ご飯粒」「カレーの油」等がついていないか。
- ③ 水分をふきとってあるか。

- レンタルテントについては、次に使用する方のために汚れを落としてから返却してください。

10 清掃について

- 退所日に**部屋等の清掃**をしてください。
※ 児童・生徒の人数に合わせて、清掃場所を決めてください。
※ 大浴場の清掃は必要ありません。トイレの清掃は水を使わず、ごみを取る程度で結構です。
- 清掃用具は各部屋にあります。使用後は元の場所に戻してください。清掃で出たごみは、廊下のごみ箱に捨ててください(**活動で出たごみは入れない**でください)。
- トイレの履物等の整理・整頓もお願いします。

11 そのほか

- 館内用の上履き、折り畳み傘(少しの移動に便利)、カップ(必須)、医薬品を持参してください。
- アメニティ類(タオル・歯ブラシ等)を必ず持参してください。
- 所内は階段が多いため、**歩いて移動**してください。
- 事前に引率の教職員、児童・生徒の役割分担を決めておくことを推奨します。また、それぞれの活動後に引率の教職員による見届けを確実に行ってください。

【役割分担例】 入所式・退所式 / 食事 / 入浴 / シーツ / レク / 備品 / 清掃 / 保健

活動プログラムについて

井川自然の家は「**静岡市の奥・オクシズ**」。だから、いいことがいっぱい。

- ◆ 自然にあふれています。
- ◆ 非日常の「自然の中」で活動するから「個の力」「集団の力」を伸ばせます。
- ◆ 「SDGs」「オクシズ」の学びの場になります。

多種多様な活動プログラムで、目標の実現をサポート。

学校の設定した目標の実現をサポートするために、多種多様な活動プログラムをご用意しております。目標を設定したのち、子どもたちの実態に応じて、効果的な活動プログラムをお選びください。

※ 令和7年度は、所員による当日の活動サポート(引率・説明)をお受けできません。活動マニュアル(事前打合せ時に配付)をもとに、引率の教職員の方々に説明・進行・支援を行ってください。

【活動プログラム一覧表の見方】

所要時間	活動にかかる、およその時間を示しています。
自然を満喫に「○」	市街地にはない、豊かな「自然」を満喫するのに、効果的な活動プログラムです。
自分づくりに「○」	たくましさや、自主性等を伸ばすのに、効果的な活動プログラムです。
仲間づくりに「○」	協調性や社会性、他者への思いやり等を伸ばすのに、効果的な活動プログラムです。
未来づくりに「○」	SDGs(自然と人の共生について考える)やオクシズ(中山間地域の魅力にふれる)の学習と連携しやすい活動プログラムです。

※「◎」は、各観点において、特に効果的なプログラムを示しています。

【活動プログラム一覧表】

No.	活動プログラム名	所要時間	自然を満喫	自分づくり	仲間づくり	未来づくり
1	所内ミニハイキング	1h	◎	—	—	◎
2	ネイチャーフィーリングサーキット	1.5h	◎	○	◎	—
3	てしゃまんくの秘宝探し	1h	◎	○	○	—
4	樹木観察ハイキング(所内)	1h	◎	○	◎	—
5	ウォークラリー(A・Dコース)	3h(往復)	○	○	◎	—
6	テントで宿泊体験(本所レンタルテントを利用)	2h～	◎	○	◎	—
7	カレーライス作り(エコクッキング)	3h	—	◎	◎	◎
8	カートンドッグ作り	2h	—	◎	—	—
9	大日古道ハイキング(渡船場コース)	1h～	○	◎	◎	○
10	井川湖渡船利用	0.5h～	○	—	—	○
11	井川本村散策	0.5h～	—	○	◎	◎
12	井川湖畔ハイキング	2h～	○	○	◎	—
13	星空観察	1h	◎	—	—	◎
14	ナイトハイク(夜の森を歩く活動)	1h	◎	—	—	○
15	キャンプファイヤー(ミニキャンプファイヤー)	1h～	◎	○	◎	—
16	LEDキャンドルナイト	1h～	—	○	◎	—
17	杉板焼き体験	2.5h	○	—	—	◎
18	スキー体験	終日	◎	○	—	—
19	雨プログラム	—	—	—	—	—

【活動プログラムの紹介】

No.1	所内ミニハイキング	自然を満喫	自分づくり	仲間づくり	未来づくり
		◎	—	—	◎
実施時期	通年	井川自然の家 マップ・ワークシート			あり
天候の可否	晴天時実施可能・雨天時要相談				
活動場所	井川自然の家 所内				
所要時間	1 時間				
活動内容	所内を散策しながら、自然の楽しさ・おもしろさ・不思議さを感じる活動です。井川自然の家入所後に、まずは 所内の「自然」を体験する「つかみ」の活動 として効果的です。				
持ち物等	・ 軍手 ・ 帽子 ・ 水筒 ・ 雨具 ・ ハンカチ ・ ティッシュ ・ 自然物を採集するビニール袋 1 枚 ・ 小袋に入れたヤマビル除け用の塩				
留意点等	・ 人数が多い場合は、複数グループに分けての実施を推奨します。 ・ 希望があれば、 所内の自然や生き物のラミネート写真 をお貸しできます。				

No.2	ネイチャーフィーリングサーキット	自然を満喫	自分づくり	仲間づくり	未来づくり
		◎	○	◎	—
実施時期	春～秋	井川自然の家 マップ・ワークシート			あり
天候の可否	晴天時実施可能・雨天時要相談				
活動場所	井川自然の家 所内				
所要時間	1.5 時間				
活動内容	マップをもとに所内に点在する「森の絵本」を見つけます。鍵で閉められている「森の絵本」を開けてみると、五感を働かせて自然を感じるためのミッションが記されています。ミッションに取り組むと、 一人一人がそれぞれの自然の「色」「形」等を感じる ことができます。また、自分と友達との感じ方のちがいに気付くことができます。				
持ち物等	・ 軍手 ・ 帽子 ・ 水筒 ・ 雨具 ・ ハンカチ ・ ティッシュ ・ 自然物を採集するビニール袋 ・ 森の絵本の鍵(所員が準備) ・ 小袋に入れたヤマビル除け用の塩				
留意点等	・ 班活動になります。安全確保のため、指導者はフィールド内に立ってください。				

No.3	てしゃまんくの秘宝探し	自然を満喫	自分づくり	仲間づくり	未来づくり
		◎	○	○	—
実施時期	通年	井川自然の家 マップ・ワークシート			あり
天候の可否	晴天時実施可能・雨天時要相談				
活動場所	井川自然の家 所内				
所要時間	1 時間				
活動内容	ワークシートをもとに、自分だけの 10 個の「森の宝物」を探し、 井川の自然の豊かさを感じる活動 です。活動の最後に、友達と採集した自然物を報告し合うと、井川の自然の豊かさをより実感できます。				
持ち物等	・ 自然物を採集するビニール袋 1 枚 ・ 軍手 ・ 帽子 ・ 水筒 ・ 雨具 ・ ハンカチ ・ ティッシュ ・ 筆記用具 ・ 小袋に入れたヤマビル除け用の塩				
留意点等	・ 所内ミニハイキングなどの活動と合わせて行う ことができます。 ・ 採集した自然物を紙に貼り付けて、似顔絵等を作る活動に発展させることができます。				

No.4	樹木観察ハイキング(所内)	自然を満喫	自分づくり	仲間づくり	未来づくり
		◎	○	◎	—
実施時期	通年	井川自然の家 マップ・ワークシート			あり
天候の可否	晴天時実施可能・雨天時要相談				
活動場所	井川自然の家 所内				
所要時間	1 時間				
活動内容	マップ兼ワークシートをもとに、所内または所外(井川自然の家集会広場～ピクニック広場)で樹木を観察することを通して、 各樹木の特徴を楽しく学ぶ ことができます。また、友達と一緒にワークシートのヒントに当てはまる樹木について考えるので、仲間づくりにも役立ちます。				
持ち物等	・ 自然物を採集するビニール袋 1 枚 ・ 軍手 ・ 帽子 ・ 水筒 ・ 雨具 ・ ハンカチ ・ ティッシュ ・ 筆記用具 ・ 小袋に入れたヤマビル除け用の塩				
留意点等	・ 班活動になります。活動中の安全の確保のため、指導者はフィールド内に立ってください。				

No.5	ウォークラリー(A・Dコース)	自然を満喫	自分づくり	仲間づくり	未来づくり
		○	○	◎	—
実施時期	通年	井川自然の家 マップ・ワークシート			あり
天候の可否	晴天時実施可能・雨天時要相談				
活動場所	井川自然の家ウォークラリーコース(全2コース) ※ 選択可能 Aコース：約2.5km Dコース：約2.2km				
所要時間	3時間(往復)				
活動内容	交差点や分岐点、目標物等を図で示したコマ図(連続図)をもとに、各班で林道や森の中を歩いて、ゴールを目指す活動です。コマ図を読み取る際に、児童・生徒の間に自然な関わり合いが生まれるため、仲間づくりに効果的な活動です。				
持ち物等	【各自で用意する物】 ・ 軍手 ・ 帽子 ・ 水筒 ・ 雨具 ・ ハンカチ ・ ティッシュ ・ 小袋に入れたヤマビル除け用の塩 【学校で用意する物】 ・ 各班用のコースコマ図(雨天対策としてラミネート加工することを奨励します) ・ 指導者用のコース全体図 ・ チェックポイント用の表				
留意点等	・ 事前にウォークラリーコースの下見を必ず実施してください。 ・ 学校でコマ図の見方の事前指導を行っておくと、当日、円滑に活動できます。 【そのほかの事前指導の内容】 ・ コマ図をよく見て進むこと ・ 畑や家の敷地に入らないこと ・ 道に迷ったら直前のチェックポイントに戻ること ・ 班の全員でそろってゴールすること ・ コマ図ではなく、コース全体図を使って実施することもできます。 ・ コース全体図をもとに、引率の教職員の配置を事前に決めてください。 ※ 人数が足りない場合は所員にご相談ください。 ・ 緊急時に対応できる教職員を決めてください。				

No.6	テントで宿泊体験	自然を満喫	自分づくり	仲間づくり	未来づくり
		◎	○	◎	—
実施時期	春(5月)～秋(10月) ※ 要相談			井川自然の家 マップ・ワークシート	
天候の可否	晴天時実施可能・雨天時相談必須				
活動場所	井川自然の家 キャンプセンター(テントサイト)			あり	
所要時間	2時間(指導者の説明 0.5 時間・設営/撤収 1.5 時間)				
活動内容	友達と一緒にテントの設営・撤収をしたり、野外泊を行ったりすることを通して、協調性を育みつつ、 日常では味わえない自然との一体感を得ることが出来ます。				
持ち物等	【各自で用意する物】 ・ 軍手 ・ 帽子 ・ 水筒 ・ 雨具 ・ ハンカチ ・ ティッシュ ・ 金づち(各テントに1本ずつ付属していますが、班の人数分があると良いです)				
	【学校で用意(申込)する物】 ・ ドーム型レンタルテント3人用(要備品申込) ・ 寝袋の下に敷く毛布(要備品申込)				
	【必要に応じて学校で用意(申込)する物】 ・ 寝袋の上に掛ける毛布(要備品申込) ・ 寝袋(要備品申込)				
留意点等	・ 事前打合せで、テント設営・撤去のやり方マニュアルを配付します。 ・ テント設営前に雨天、テント設営後に悪天候の予想または悪天候に見舞われた場合は、活動の実施・継続についてご相談させていただきます。				

No.7	カレーライス作り (エコクッキング)	自然を満喫	自分づくり	仲間づくり	未来づくり
		—	◎	◎	◎
実施時期	春～秋 ※ 要相談			井川自然の家 マップ・ワークシート	
天候の可否	晴天時・雨天時 実施可能				
活動場所	井川自然の家 各炊飯棟			あり 次ページ以降参照	
所要時間	3 時間(指導者の説明 0.5 時間・調理 1.5 時間・片付け 1 時間)				
活動内容	井川自然の家では、カレーライス作りを「エコノミー＝節約」と「エコロジー＝自然にやさしい」の「エコ」と絡めて「エコクッキング」と呼んでいます。自然と人間が今後も仲良くくらしていけるように、3つのムダ(食材のムダ・薪のムダ・水のムダ)をなくしながらカレーライスを作ります。また、活動を通じて、自分の役割を果たしたり、友達との自然な関わりが生まれたりするため、責任感や協調性を育むことができます。				
持ち物等	【各自で用意する物】 ・ 軍手 ・ 帽子 ・ 水筒 ・ 雨具 ・ ふきん1枚 ・ ハンカチ ・ ティッシュ ・ ペットボトルのふた1個 【班で用意する物】 ・ 焚付け用の割り箸 10 膳(使用済が望ましい) ・ 焚付け用の新聞(朝刊1日分) ・ 皮むき器2個程度(ペットボトルのふたでも良い) 【学校で用意(申込)する物】 ・ 火つけに使うもの(マッチ等) ・ ごみ袋 ・ なべ等についているカレーを拭き取るためのキッチンペーパー等 ・ 水切りネット(三角コーナーまたは各炊飯棟の排水口にセット) ・ 薪やカレーライス作りに必要な食材、道具等(要備品申込)				
留意点等	・ 炊飯棟の利用方法、備品の片付け方については 19 ページを参照してください。 ・ 希望があれば、エコクッキングの説明に使うラミネート資料をお貸しできます。 ・ 希望があれば、折りたたみテーブル・イスをお貸しできます。 ・ 11 月頃の実施は可能ですが、炊飯棟の水が冷たくなります。 ・ 12 月～3月は炊飯棟の水を止めるため実施できません。				

No.8	カートンドッグ作り	自然を満喫	自分づくり	仲間づくり	未来づくり
		—	◎	—	—
実施時期	春～秋 ※ 要相談	井川自然の家 マップ・ワークシート			あり 次ページ以降参照
天候の可否	晴天時・雨天時 実施可能				
活動場所	井川自然の家 各炊飯棟				
所要時間	2時間(指導者の説明 0.5 時間・調理 1 時間・片付け 0.5 時間)				
活動内容	カートンドッグ作りは 調理・片付けが簡単 なので、朝食作りにぴったりです。また、「自分の」朝食を「自分の力で」作る楽しさを味わえます。				
持ち物等	【各自で用意する物】 ・ 軍手 ・ 帽子 ・ 水筒 ・ 雨具 ・ ハンカチ ・ ティッシュ ・ 牛乳パック 1000mL 2本 ・ アルミホイルB4サイズ 4枚 ※アルミホイルは 幅 30 cm程のもの が包みやすいです。				
	【学校で用意(申込)する物】 ・ 火つけに使うもの(マッチ等) ・ ごみ袋 ・ 各クラス分の予備のアルミホイル1個(未使用が望ましい)				
留意点等	・ 炊飯棟の利用方法、備品の片付け方については 30 ページ を参照してください。 ・ 希望があれば、 折りたたみテーブル・イス をお貸しできます。 ・ 11 月頃の実施は可能ですが、炊飯棟の水が冷たくなります。 ・ 12 月～3月は炊飯棟の水を止めるため実施できません。				

【参考】まきを使った火の起こし方

＜所要時間＞ 0.5 時間(飯ごう・カレー作りと同時進行)

＜準備物＞ 軍手 焚付け用の割り箸 10 膳(使用済が望ましい) 焚付け用の新聞(朝刊1 日分) 薪

1 まくら木を置く



下の網をおろし、その上に太いまきを2本置きます。

2 新聞紙を丸める



新聞紙を空気が入るようにふんわりと丸めます(リンゴの大きさぐらいに丸めます)。

3 まくら木の間に新聞紙を入れる



まくら木の間に、「2」で丸めた新聞紙を3個並べます。

4 たきつけをのせる



割りばし(10 本)や牛乳パックを細く切ったもの(10 枚)を、空気が入るように並べます。

5 細い薪をのせる



細い薪(10 本)を、空気が入るように並べます。

6 中ぐらいの薪で井げたを組む



井川の「井」を上網にできるだけ近づけるように重ねていきます。真ん中に、太くて薄いまきをのせます。

7 火をつける



飯ごうやなべの準備ができたなら、奥から手前の順に新聞紙に網の下から火をつけます。

8 火を育てる(薪を入れていく)



空気が入るように、薪は縦横交互にのせ、火から目を離さないようにします。

9 灰になるまで燃やす



炊飯が終わっても火を消さず、最後まで燃やしきります。使っていない薪は、返却します。

10 灰を灰捨て場に片付ける



網は斜めに立てかけ、完全に火の消えた灰を備え付けの灰入れ(金属の容器)へ片付けます。

※ 退所前に灰入れの炭を集会広場東側の灰捨て場に処分してください。

【参考】飯ごうでのご飯の炊き方

＜所要時間＞ 1.5 時間(薪・カレー作りと同時進行)

＜準備物＞ 軍手 ふきん 米 飯ごう シャもじ マッチ等 薪

1 米を洗う



白い水が出なくなるまで、手早くかき回しながら、3～4 回水を替えます。

2 水を入れる



米の上部に人差し指を立て、第2関節(大人の場合)まで水を入れます。
※ かまどの準備ができるまで、米を水につけておきましょう。

3 火にかける



炎が当たる位置に飯ごうを置きます。炎が飯ごう全体を包むぐらいの火加減が良いです。

4 ふたを取って確認する



しばらくすると、水がふきこぼれてきます。ふたを取って、飯ごうの中の米の様子を何度も確認しましょう。

5 炊き上がりを確認する



ふたの上に細い薪を当てても振動が伝わらなくなったら、ほぼ完成です。ふたを開けて、米の炊け具合をチェックします。

6 火からおろす



米が炊きあがっていたら、軍手を着用し、まきを使って持ち上げます。
※ 火ばさみで持ち上げると危険です。

7 蒸らす



ふたをしたまま 10～15 分ほど蒸らします。
※ 飯ごうの底は、たたきません。

8 完成・片付け



飯ごうの内側に、米粒が一つも残っておらず、手でさわってヌルヌルしなければ OK です。外側は、手でさわって黒くならない場合は合格です。

【参考】カレーライス作り(エコクッキング)

＜所要時間＞ 1.5 時間～(薪・飯ごとと同時進行)

＜準備物＞ 軍手 ふきん カレーの食材 なべ ポウル まな板 包丁 さいばし おたま
皮むき器またはペットボトルのふた 流し用のネット キッチンペーパー
※ まな板・包丁は**2人分あると調理時間が短縮**できます。

1 野菜の皮をむく  ペットボトルのふたを使うとむだなく簡単に皮をむくことができます(皮むき器で皮をむいても良い)。	5 煮え具合を確認する  おたまでニンジンとジャガイモを取り出し、さいばしで刺します。さいばしがずんなり通ればOKです。
2 野菜を切る  火の通りがよくなるよう、できるだけすく切ります。厚さ1cm ぐらいが理想的です。	6 肉を入れる  肉を入れ、さいばしやおたまでほくします。次に、水の量を調節します。
3 なべに野菜と水を入れる  野菜が水面より少し出る程度に水を入れます。 ※ スープカレーにならないように水の量は少なめにします。	7 カレールウを入れる  肉の色が変わったら、なべの水の量を確認します。水が多ければ、おたまでポウルに入れて減らし、少なければ水を加えます。その後、ルウを割って入れ、よくかき混ぜます。
4 火にかける  炎が当たる位置に鍋を置き、強火で煮ます。	8 完成・片付け  水洗い後、なべの内側にカレーの黄ばみがなく、手でさわってヌルヌルしなければOKです。外側は手でさわって黒くならないれば合格です。

本所で、洗剤、スポンジ、たわし(金だわし)をご用意します。鍋の**内側はスポンジ、外側はたわし(金だわし)**を使用して洗浄してください。

【参考】カートンドッグ作り

＜所要時間＞ 2 時間

＜準備物＞ 軍手 牛乳パック1000mL **2本** アルミホイルB4サイズ**4枚**(幅30cm位)
各クラス分のアルミホイル1個(未使用が望ましい) カートンドッグの食材 マッチ等

1 バックの準備をする(事前に)  パックは口を開き、側面に折り目を作り、平らに畳みます。側面の底に近い所1ヶ所に、はさみで斜めに切込みを入れておきます。	5 点火をし、もう一つ作る  パックの切り込み部分に火をつけると、全体へ燃え移ります。燃えている間に、もう一つのカートンドッグを準備します。
2 具を入れる  2枚重ねたアルミホイルの上にパンを置き、切れ目に具材を入れます。	6 取り出す  軍手をした手でホイルごと取り出します。パックが燃え残ったら、再び点火します。
3 アルミホイルで包む  アルミホイルを一度クシャクシャにしてから包むと、パンとホイルに隙間ができ、焦げ目が少なくなります。	7 食べる  ケチャップをお好みでかけて、食べます。
4 バックに入れて並べる  包んだパンをバックの中に入れます。かまどに並べます(※複数並べた方が互いの火が燃え移り、しっかりと温められます)。	8 片付け  かまどの灰は掃き、備え付けの灰入れ(金属の容器)に入れて、退所前に集会広場東側の灰捨て場に捨てます。

※ 牛乳パックへの切り込み、アルミホイルをB4判サイズにカットしたものの4枚を事前に準備してきた上で活動に入りますと、スムーズに実施できます。

井川湖周辺 満喫コース		自然を満喫	自分づくり	仲間づくり	未来づくり
No.9	大日古道ハイキング(渡船場コース)		○	◎	◎
No.10	井川湖渡船利用 ※ 要事前連絡		○	—	—
No.11	井川本村散策		—	○	◎
No.12	井川湖畔ハイキング		○	○	◎
実施時期	春～秋 ※ 要相談			井川自然の家 マップ・ワークシート	
天候の可否	晴天時実施可能・雨天時要相談				
行程	①【井川自然の家 → 井川ダム】※ 最終日での実施を推奨します。 井川自然の家出発 → 大日古道ハイキング(渡船場コース) → → 井川湖渡船利用 → 井川本村散策 → 井川湖畔ハイキング → → 井川ダム・昼食 → バス乗車・帰校 ②【井川ダム → 井川自然の家】※ 初日での実施を推奨します。 バス降車 → 井川ダム・昼食 → 井川湖畔ハイキング → → 井川本村散策 → 井川湖渡船利用 → → 大日古道ハイキング(渡船場コース) → 井川自然の家到着			あり	
所要時間	大日古道ハイキング	井川自然の家→井川湖 1 時間 井川湖→井川自然の家 1.5 時間			
	井川湖渡船利用	人数により所要時間が大きく異なります。ダム減水時は運航休止になります。			
	井川本村散策	コースにより所要時間が異なります。最短コースで0.5 時間程度です。			
	井川湖畔ハイキング	コース上の吊り橋の渡橋時間により所要時間が大きく異なります。			
活動内容	No.9 ～ No.12 をセットに活動することで、井川湖周辺の自然・歴史・文化を体験したり学んだりすることができます。 【大日古道ハイキング】 昔、井川の人々が交通路として徒歩で利用した道を歩きます。コース沿いには通行人の無事と安全を願い、井川の人々等に寄進された観音様があります。 【井川湖渡船】 現在の渡船の航路は、ダム工事により湖底になる前まで、井川の人々が利用していた道と同じところになります。夏は湖面を渡る風が心地良いです。 【井川本村散策】 オクシズならではの山村の町並みを見ることができます。各クラス・各班で散策することができます。 ※ 活動時間を確保するために、井川ビジターセンターでの昼食・バス発着も可能です。 【井川湖畔ハイキング】 井川自然の家周辺とは異なる自然を感じることができます。ハイキングコースには「井川大仏」や「夢の吊り橋」があったり、「廃線路」を歩いたりできる区間もあります。				
持ち物等	【各自で用意する物】 ・ 軍手 ・ 帽子 ・ 水筒 ・ 雨具 ・ ハンカチ ・ ティッシュ ・ 小袋に入れたヤマビル除け用の塩 【必要に応じて学校で用意する物】 ・ 井川本村散策マップ				
留意点等	・ 事前にコースの下見を必ず実施してください。 ・ 井川湖渡船利用には事前の予約が必要。静岡市井川支所の井川湖渡船担当へ直接お問い合わせください(TEL 054-260-2211)。なお、ダム減水時は運航休止になります。 ・ 各班で井川本村散策を行う場合は、マップをもとに、引率の教職員の配置を事前に決めてください(人数が足りない場合は所員にご相談ください)。また、緊急時に対応できる教職員を決めてください。 ・ 井川湖渡船、井川湖畔ハイキングの吊り橋は、人数により所要時間が大きく異なります。行程・所要時間等について所員にご相談ください。 ・ 希望があれば、本活動に合わせて、井川地区の自然や歴史・文化を紹介する DVD をお貸しできます。(集会室で視聴可能)				

No.13	星空観察	自然を満喫	自分づくり	仲間づくり	未来づくり
		◎	—	—	◎
実施時期	通年			井川自然の家 マップ・ワークシート	
天候の可否	晴天時・雨天時 実施可能 ※ 雨天時は集会室で実施				
活動場所	井川自然の家 集会室・来所者駐車場			あり	
所要時間	1 時間				
活動内容	街の灯りの少ない井川では、たくさんの星を眺めることができ、 中山間地ならではの魅力 といえます。また、 理科の学習と連携させる ことで、代表的な星座に関する知識・理解を深めることができます。				
持ち物等	【各自で用意する物】 ・ 懐中電灯(足元を照らすために使用) ・ 防寒着(10月～4月)				
留意点等	・ 「No.14 ナイトハイク」とセットで行うことができます。 ・ 雨天時は、集会室にある 星空掲示パネル を使用することで、星空観察の雰囲気味わえます。 ・ 希望があれば、 星の話のパワーポイントデータ(事前提供可能) をお貸しできます。				

No.14	ナイトハイク (夜の森を歩く活動)	自然を満喫	自分づくり	仲間づくり	未来づくり
		◎	—	—	○
実施時期	通年			井川自然の家 マップ・ワークシート	
天候の可否	晴天時実施可能・雨天時要相談				
活動場所	井川自然の家 キャンプセンター・駐車場・集会広場周辺			あり	
所要時間	1 時間(指導者の説明 10 分間・ナイトハイク 50 分間)				
活動内容	灯りがほとんどない夜の森の中を歩くことを通して、「 五感 」が徐々に研ぎ澄まされていく体験をしたり、 自然に対する畏敬の念 を感じたりすることができます。				
持ち物等	【各自で用意する物】 ・ 懐中電灯(足元を照らすために使用) ・ 防寒着(10 月～4 月)				
留意点等	・ 「No.13 星空観察」とセットで行うことができます。 ・ 「No.1 所内ミニハイキング」のコースを使用します。事前下見と併せて、 当日タ方の確認 を推奨します。				

No.15	キャンプファイヤー (ミニキャンプファイヤー)	自然を満喫	自分づくり	仲間づくり	未来づくり
		◎	○	◎	—
実施時期	春～秋			井川自然の家 マップ・ワークシート	
天候の可否	晴天時実施可能・雨天時要相談				
活動場所	井川自然の家 集会広場・キャンプセンター前広場			あり 次ページ参照	
所要時間	1 時間				
活動内容	友達と一緒に自然の中で、静かに火を眺めたり、火を囲んで楽しく踊ったりする活動です。活動を通して 児童・生徒の一体感 が生まれ、忘れられない思い出をつくることができます。				
持ち物等	【各自で用意する物】 ・ 懐中電灯(足元を照らすために使用) ・ 防寒着(10 月～11 月) 【学校で用意(申込)する物】 ・ キャンプファイヤー用薪(要備品申込) ・ キャンプファイヤー用トーチ(要備品申込) ・ 火の神の衣装、杖(貸出可能) ・ 放送用アンブ(CD 可能マイク有) (貸出可能)				
留意点等	・ 強風の際は 、キャンプファイヤーをご遠慮いただく場合があります。 ・ 12 月～3 月は炊飯棟の水を止めるため、防火上実施できません。 ・ 最後まで薪を燃やし切り、水をかけ、 完全に消火 させてください。 ・ 消火後、灰を 灰捨て場に処分 してください。 ・ キャンプファイヤーの代わりに高さ 30cm 程度の丸太を燃やすログファイヤーも実施可能です。 ・ ミニキャンプファイヤーの薪等については、通常のキャンプファイヤーの薪等の半分程度になります。活動の目的や内容、持ち物等は通常のキャンプファイヤーと同様です。				

No.16	L E Dキャンドルナイト	自然を満喫	自分づくり	仲間づくり	未来づくり
		—	○	◎	—
実施時期	通年	井川自然の家 マップ・ワークシート			なし
天候の可否	晴天時・雨天時 実施可能 ※ キャンプファイヤーの代替可能				
活動場所	井川自然の家 多目的ホール(体育館)				
所要時間	1 時間				
活動内容	真っ暗な多目的ホール(体育館)の中で、友達と一緒にL E Dキャンドルの明かりを眺めたり、楽しく踊ったりする活動です。児童・生徒の一体感が生まれ、忘れられない思い出をつくることができます。				
持ち物等	【各自で用意する物】 ・ 防寒着(10 月～11 月) 【学校で用意する物】 ・ L E Dキャンドル 26 個(貸出可能) ・ 燭台(貸出可能) ・ 火の神の衣装、杖(貸出可能) ・ 放送用設備(CD 可能マイク有・多目的ホール常設)				
留意点等	・ 事前打合せの際に、L E Dキャンドルや燭台のご確認をお願いします。				



【参考】キャンプファイヤー(ミニキャンプファイヤー)の薪の組み方

1 薪を運ぶ キャンプセンターの備品置き場へ取りに行きます。 	5 薪を組む③ 組んだ薪の中に小の薪を入れます。灯油を中の薪にかけます。 ※ 灯油のかけすぎにご注意ください。 
2 薪を分ける 薪を大中小に分けます。中がない場合は、大と小にします。 	6 点火する トーチの火を使って点火します。 
3 薪を組む① 太い薪を「井」の字になるように置きます。 	7 薪の補充 火力が弱くなってきたら小の薪を「井」の字の中へ補充します。 
4 薪を組む② 中くらいの薪を「3」と同じように置きます。 	8 片付け 火を消さずに、最後まで燃やしきります。水をかけ、火が消えたら灰を灰入れ(金属の容器)に入れて、集会広場東側の灰捨て場に捨てます。 

※ ミニキャンプファイヤーは、薪等が通常のキャンプファイヤーの半分程度になりますが、組み方は通常のキャンプファイヤーと同様です。

ログファイヤーについて



5～6人で火を囲み、一日のふり返し等を行うことができます。

【参考】杉板焼き

＜所要時間＞ 2.5 時間～

＜準備物＞ 軍手 汚れて良い服装 マスク ゴーグル(水泳用可) 雑巾 たわし(貸出可能)
杉板を入れるビニール袋 1枚 焚付け用の割り箸 10膳(使用済みが望ましい)
焚付け用の新聞(朝刊1日分) マッチ等 1つのかまどに薪1組 杉板

1 	2 	3 
薪を組み、火を起こします。かまどの数に余裕があれば、火起こし用と焼いた板を置く用に、となり合う2つのかまどを使用します。	火が落ち着いたら、板を焼きます。焼け具合を確認しながら、少し焦げ目がつくか、炭化するまで焼きます ※ 軍手着用・火ばさみ使用	焼いた板を冷まします(冷めるまで10分は待ちます)。 ※ 軍手着用・火ばさみ使用
4 	5 	6 
新聞紙を敷き、木目に沿ってたわしでこすり、すすを落とします。	そうきんで板を磨きます。さわって手につかなければOKです。	板を新聞紙に包み、ビニール袋に入れ、名前を書いて一時保管します。
7 	8 	9 
かまどの上から順に掃き、灰は備え付けの灰入れ(金属の容器)に入れて集会広場東側の灰捨て場に捨てます。	灰等の掃き残しがないか、指導者がチェックをします。	「4」で新聞紙に落としたすすは、新聞紙ごと小さく丸め、処分します。
10 	11 	12 
炊飯棟の周りに落ちているすすもしっかりはきます。	汚れた手ぶくろやそうきんをビニール袋に入れます。	時間があればポスターカラーで文字や絵をかきます。

No.17	杉板焼き体験	自然を満喫	自分づくり	仲間づくり	未来づくり
		○	—	—	◎
実施時期	通年			井川自然の家 マップ・ワークシート あり 前ページ参照	
天候の可否	晴天時・雨天時 実施可能				
活動場所	井川自然の家 各炊飯棟				
所要時間	2.5 時間(指導者の説明 0.5 時間・活動2時間)				
活動内容	杉板を燃やし、すすをとり、磨く活動を通して、スギの木目の美しさやおもしろさに気づき、 自然素材の良さを感じる ことができます。				
持ち物等	【各自で用意する物】 ・ 軍手 ・ 汚れて良い服装 ・ マスク ・ ゴーグル(水泳用可) ・ 雑巾(貸出可能) ・ たわし(貸出可能) ・ 杉板を入れるビニール袋 1 枚 【班で用意する物】 ・ 焚付け用の割り箸 10 膳(使用済が望ましい) ・ 焚付け用の新聞(朝刊 1 日分) 【学校で用意(申込)する物】 ・ マッチ等 ・ 1 つかまどに薪 1 組(要備品申込) ・ 全員分の杉板(要備品申込)				
留意点等	・ すすを吸ってしまったり、すすが目に入ったりする恐れがあります。 必ずマスクを着用 してください。また、目の保護用にゴーグルの着用も推奨します。 ・ 1 つかまどに最大6人で活動できます。 ・ 1 つかまどに薪 1 組が必要です。				

No.18	スキー体験	自然を満喫	自分づくり	仲間づくり	未来づくり
		◎	○	—	—
実施時期	冬			井川自然の家 マップ・ワークシート	
天候の可否	晴天時実施可能・雨天時要相談				
活動場所	静岡市リバウエル井川スキー場			なし	
所要時間	終日				
活動内容	スキーを体験することを通して、 井川ならではの 冬の寒さや雪の冷たさを感じたり、スキーの技術を身に付けたりすることができます。				
持ち物等	・ スキーウェア上下 ・ スキー用の帽子またはヘルメット ・ スキー用の手袋 ・ 厚手の靴下 ・ スキー用のゴーグル、サングラス				
留意点等	・ レンタルスキーセット(スキー板、ストック、スキー靴)、レンタルスキーウェア、リフト使用料、レストハウスおよび駐車場利用の詳細は、静岡市リバウエル井川スキー場へ直接お問い合わせください。TEL 054-260-2316				

No.19 雨プログラムについて

井川自然の家は標高 1,000mの地点にあるため、天気が変わりやすく、急に雨が降ることがあります。また、市街地では晴天であっても、井川では雨天であることもよくあります。

晴天時の活動の計画と合わせて、**雨天時の活動の計画**も立てておいてください。計画の際は、下記の雨プログラムを参考にしてください。

No.19-1	館内クイズラリー	自然を満喫	自分づくり	仲間づくり	未来づくり
		—	—	○	◎
実施時期	通年	井川自然の家 マップ・ワークシート			あり
天候の可否	晴天時・雨天時 実施可能				
活動場所	井川自然の家 館内				
所要時間	1 時間				
活動内容	マップをもとに、館内の様々なところに掲示してある全 34 枚のカードを探し出し、各カードに記載されているクイズに答える活動です。クイズの内容は、 井川の自然・歴史・文化に関する内容 ですので、答えることでこれらの知識を得ることができます。また、各班で取り組むことで、仲間づくりに役立ちます。				
持ち物等	【班で用意する物】 ・ 筆記用具 ・ バインダー 【貸出可能な物】 ・ 各班用のマップ 兼 解答用紙 ・ クイズの解答				
留意点等	・ 館内は階段が多いため、歩いて移動するよう、児童・生徒にご指導ください。 ・ 解答をお渡ししますので、指導者の皆様で丸付けをよろしくお願いします。				

No.19-2	めざせ！山歩きチャンピオン	自然を満喫	自分づくり	仲間づくり	未来づくり
		—	—	○	◎
実施時期	通年	井川自然の家 マップ・ワークシート			あり
天候の可否	晴天時・雨天時 実施可能				
活動場所	井川自然の家 館内				
所要時間	1 時間				
活動内容	井川自然の家の館内は階段がとても多いですが、この活動プログラムは、その階段を利用した内容になります。階段をハイキングコースに見立て、隊列を組んでゆっくり歩くという、 ハイキングの疑似体験 をします。設定タイムの「7分」ちょうどにゴールできるよう、班で協力して歩きます。				
持ち物等	【貸出可能な物】 ・ 各班用のコース図 ・ 記録用紙 ・ ストップウォッチ				
留意点等	・ 指導者はコースの適当な位置に立ち、児童・生徒の安全把握、活動支援をよろしくお願いします。				

No.19-3	葉っぱのかるた・神経衰弱	自然を満喫	自分づくり	仲間づくり	未来づくり
		—	—	○	◎
実施時期	通年	井川自然の家 マップ・ワークシート			
天候の可否	晴天時・雨天時 実施可能				
活動場所	井川自然の家 館内				
所要時間	0.5 時間	なし			
活動内容	井川自然の家で採れた葉っぱをラミネート加工したカードを使って活動します。読み手は読み札の葉っぱをよく観察し、その特徴を取り手に伝えます。取り手は伝えられた特徴にあてはまるカードを探して取ります(「かるた遊び」)。また、同じ葉っぱをそろえる「神経衰弱」も行うことができます。遊びながら 様々な種類の葉を観察したり、ふれたりする ことができます。				
持ち物等	【貸出可能な物】 ・ 葉っぱのカルタ8組				
留意点等	・ 1 回の活動で8グループまで活動できます。				

No.19-4	南アルプスかるた	自然を満喫	自分づくり	仲間づくり	未来づくり
		—	—	○	◎
実施時期	通年	井川自然の家 マップ・ワークシート			なし
天候の可否	晴天時・雨天時 実施可能				
活動場所	井川自然の家 館内				
所要時間	0.5 時間				
活動内容	南アルプスの価値や魅力、そして、その大自然からもたらされる豊かな恵み、そこから発展した産業や文化などを「かるた遊び」をしながら学ぶことができます。				
持ち物等	【貸出可能な物】 ・ 南アルプスかるた9組				
留意点等	・ 1 回の活動で9グループまで活動できます。				

No.19-5	   
天候の可否	晴天時・雨天時 実施可能
活動場所	井川自然の家 館内
持ち物等	・ 各活動プログラムの道具(貸出可能) ※ 所員にご相談ください。
留意点等	・ 大人数での活動は困難 なため、事前打合せ(下見)等でご確認ください。

No.19-6	わくわくホールでレクリエーション	自然を満喫	自分づくり	仲間づくり	未来づくり
		—	○	○	—
実施時期	通年	井川自然の家 マップ・ワークシート			なし
天候の可否	晴天時・雨天時 実施可能				
活動場所	井川自然の家 館内(本館2階ホール)				
所要時間	0.5 時間 ～ 1 時間				
活動内容	わくわくホール（本館2階ホール）にある様々な道具を使って、仲間と楽しく遊びます。 【用意してあるレクリエーション】 ・ いーくん・かもちゃん福笑い2セット ・ 井川 de どうぶつしょうぎ2セット ・ 井川コレクションカードゲーム2セット ・ 井川 de SDGs すごろく ・ SDGs ぬり絵 など				
持ち物等	・ 各活動プログラムの道具(貸出可能)				
留意点等	・ 大人数での活動は困難なため、事前打合せ(下見)等でご確認ください。				

※ 雨天時用のプログラム等を組み合わせて実施することも可能です。

【組み合わせ例 ①】			
時間	1 組	2 組	3 組
0 分 ~ 60 分	井川オリンピック (No.19-5)	めざせ! 山歩きチャンピオン	葉っぱのかるた & 南アルプスかるた
60 分 ~ 120 分	葉っぱのかるた & 南アルプスかるた	井川オリンピック (No.19-5)	めざせ! 山歩きチャンピオン
120 分 ~ 180 分	めざせ! 山歩きチャンピオン	葉っぱのかるた & 南アルプスかるた	井川オリンピック (No.19-5)
【組み合わせ例 ②】			
時間	1 組	2 組	3 組
0 分 ~ 60 分	わくわくホール レクリエーション	館内クイズラリー	木のペンダント作り & 南アルプスかるた
60 分 ~ 120 分	木のペンダント作り & 南アルプスかるた	わくわくホール レクリエーション	館内クイズラリー
120 分 ~ 180 分	館内クイズラリー	木のペンダント作り & 南アルプスかるた	わくわくホール レクリエーション
※ 多目的ホール(体育館)でのクラスレクリエーションの実施も可能です。 ※ 木のペンダント・葉っぱのしおりは備品申込(有料)が必要です。			
			

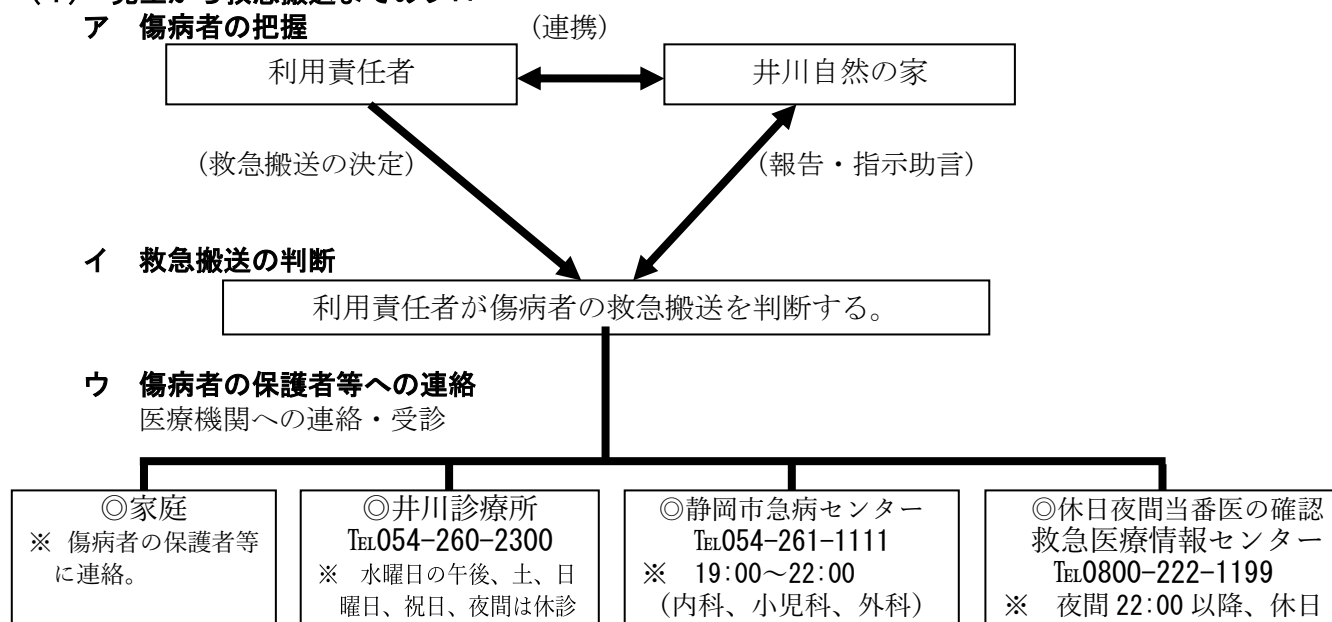
緊急対応について

緊急対応については、井川自然の家が「危機管理マニュアル」として定めているものです。有事の際には、利用者の皆様との連携により、迅速な対応を図りますので、ご協力をよろしくお願いします。

I 傷病者発生時の対応について

1 傷病者の対応

(1) 発生から救急搬送までのフロー



(2) 利用団体(学校)との連携体制

ア 傷病者発生時の報告

利用責任者は、傷病者が発生した場合、ただちに井川自然の家に連絡してください。ただし、傷病者の症状が軽度で、野外活動の継続が可能な場合、若しくは医療関係者が常駐しており、傷病者の救護が適切にできる場合は状況に応じた報告をしてください。

イ 傷病者の救急搬送及び医療機関への受診の判断

傷病者の救急搬送及び医療機関への受診は、利用責任者が判断してください。

ウ 傷病者の救急搬送に対する指導助言

- (ア) 利用責任者は、傷病者の野外活動の継続が困難であると判断したときは、ただちにその保護者等に連絡し、傷病者の引き渡し方法等について確認してください。
- (イ) 傷病者を利用責任者の緊急車両で搬送する場合、付き添う指導者等や緊急車両の不在時間が長引くことにより、利用者の活動に影響が生じないように、予め引き渡し場所(例：横沢のトイレ休憩所、玉川小中等)を決めておくなど、搬送体制を整えておいてください。
- (ウ) 傷病者の発生が相次ぐ等の事由により、利用責任者の緊急車両が不足となったときは、井川自然の家と対応を協議してください。

エ 感染症の予防について

- (ア) うがいと石鹸での手洗い手指の消毒を徹底し、予防に努めてください。
- (イ) 利用者に嘔吐、下痢、発熱等があった場合は、マスクを着用させ、他者と接触しないように、保健室等の別室で休ませてください。
- (ウ) 嘔吐物の処理は、塩素系消毒液等を使い、適切に処理してください。同時に、使用場所等の消毒も確実に行ってください。
- (エ) 発症者以外の健康状態も随時、確認してください。
- (オ) 活動への復帰または帰宅、医療機関への受診等の判断は、利用責任者が行ってください。

オ 医療機関の受診について

(ア) 井川診療所(もしくは玉川診療所)を受診する場合

井川診療所：054-260-2300

- ・ 受診前に電話で症状等を伝え、診療所から必要な指示を受けてください。
- ・ 井川自然の家から井川診療所までは車で30分程度かかります。水曜日の午後、土曜日、日曜日及び祝日、夜間(17:00以降)は休診となります。
- ・ 井川自然の家から車で45分程度かかりますが、**玉川診療所(Tel292-2223)**も受診可能な医療機関となります。

(イ) 静岡市急病センターを受診する場合

静岡市急病センター：054-261-1111

- ・ 夜間(19:00 から 22:00 まで)は、静岡市急病センターで受診できます。井川自然の家から急病センターまでは車で1時間30分程度かかりますので、事前に電話で症状等を伝え、必要な指示を受けてから受診に向かってください。

(ウ) 休日夜間当番医を受診する場合

救急医療情報センター：24 時間対応 0800-222-1199

- ・ 休日及び夜間(22:00 以降)の受診は、当番医となるため、救急医療情報センターまたは所員に問い合わせてください。

(エ) 重傷等により傷病者の搬送が困難な場合

- ・ 救急隊またはヘリコプターによる救急搬送の要請は、利用者責任者が判断してください。
- ・ 救急隊は千代田消防署井川出張所(Tel207-3007)または**119 番**へ連絡してください。
- ・ ヘリコプターは井川診療所(Tel260-2300)または**119 番**への連絡により静岡市消防局が対応します。
- ・ 井川地域のヘリポートはアイセン(井川高齢者生活福祉センター・井川診療所複合施設)付近となりますが、傷病者をヘリポートまで搬送できない場合は、井川自然の家第1駐車場上空にて傷病者を吊上げて収容することも可能です(平成29年8月27日29 静千消第1839号「井川自然の家付近の警防体制について」で確認済み)。

II 災害発生時に対する対応について

1 大雨・洪水・大雪・暴風等の警報発令時の対応

			ハイク・ウォークラリー(WR)	テント	トレラン
特別警報・警報	暴風雪 大雨 洪水 暴風 大雪	活動前	○ 気象情報を確認し、活動を中止する。	○ 気象情報を確認し、中止する。	○ 気象情報を確認し、中止する。
		活動中	○ 気象情報が確認でき次第、責任者は無線で引率者全員に状況を知らせる。 ○ 児童・生徒の安全確認を行い、場合によっては1ヶ所に生徒を集める。 ○ 指導者が引率し、安全な道を通り速やかに自然の家に戻る。 ○ どの道を通るのが良いかの判断は、所員との相談の上、決める。 ○ 活動を途中で中止する場合に備えて、児童・生徒が集まるポイントを決めておく。	○ 気象情報が確認でき次第、責任者は引率者全員に状況を知らせる。 ○ テントごとの人員を確認し、避難指示を出す。 ○ 所員の指示のもと、避難場所に避難する。	○ 安全な道を通り速やかに自然の家に戻る。
注意報	雷	活動前	○ 気象情報をもとに、責任者に状況を伝えた上で、相互判断とする。 ○ 雷鳴、稲妻が確認できる場合は実施しない。 ○ 注意報発令時に実施する場合は、利用者の連絡先を確認しておく。 ○ 責任者は決定事項を引率者全員に確実に伝える。 ○ 雷への対応についても確認しておく。	○ 気象情報をもとに、責任者に状況を伝えた上で、相互判断とする。 ○ 雷鳴、稲妻が確認できる場合は実施しない。 ○ 注意報発令時に実施する場合は、利用者の連絡先を確認しておく。 ○ 責任者は決定事項を引率者全員に確実に伝える。 ○ テント設置する場合は、雷への対応の仕方について確認しておく。	○ 気象情報をもとに、利用者に状況を伝えた上で、相互判断とする。
		活動中	○ 気象情報をもとに、責任者に状況を伝えた上で、相互判断とする。 ○ 雷鳴、稲妻が確認できる場合は実施しない。 ○ 責任者は決定事項を引率者全員に確実に伝える。 ○ 雷への対応についても確認しておく。 ○ 途中で活動を中止する場合は、上記警報時と同じ対応をする。 (基本的には雷鳴が聞こえたら中止する)	○ 気象情報をもとに、責任者に状況を伝えた上で、相互判断とする。 ○ 雷鳴、稲妻が確認できる場合は実施しない。 ○ 責任者は決定事項を引率者全員に確実に伝える。 ○ テントを設置する場合は、雷への対応について確認しておく。 ○ 途中で避難する場合は、上記警報時と同じ対応をする。(基本的には雷鳴が聞こえたら避難する)	○ 利用者に連絡し、気象情報を伝えた上で、相互判断とする。 ○ 雷鳴、稲妻が確認できる場合は、中断するように伝える。
	大雨 大雪 風雪 強風	活動前	○ 気象情報をもとに、責任者に状況を伝えた上で、相互判断とする。 ○ 責任者は決定事項を引率者全員に確実に伝える。	○ 気象情報をもとに、責任者に状況を伝えた上で、相互判断とする。 ○ 責任者は決定事項を引率者全員に確実に伝える。	○ 気象情報をもとに、利用者は所員と相談の上、天候が悪化した場合は、中断する。
		活動中	○ 気象情報をもとに、責任者に状況を伝えた上で、相互判断とする。 ○ 責任者は決定事項を引率者全員に確実に伝える。 ○ 途中で活動を中止する場合は、上記警報時と同じ対応をする。	○ 気象情報をもとに、責任者に状況を伝えた上で、相互判断とする。 ○ 責任者は決定事項を引率者全員に確実に伝える。 ○ 途中で避難する場合は、上記警報時と同じ対応をする。	○ 気象情報を確認し、状況によっては、中断する。

2 野外活動(テント泊)における緊急避難対応

(1) 基本方針

- ア 野外活動時の緊急避難場所は**多目的ホール(体育館)**になります。
- イ テント泊と館内泊の入れ替わりは、他団体やプログラムに支障がなければ行えます。

(2) 避難の対応手順

ア テント設営後の降雨によりテント泊を中止する場合

- (ア) 利用責任者が中止と判断したときは、多目的ホールを避難場所として開放します。
- (イ) 利用責任者は、利用者の移動終了後、使用しているテントサイト及び炊飯棟の点検を行い、荷物の置忘れ、火の後始末、残飯処理などを確実に行った上で、事務所へ避難完了の報告をしてください。

3 雷発生時の対応

(1) 雷の性質について

- ア 大気が不安定な時に、局地的上昇気流によって、雷雲(積乱雲)が発生します。
- イ 積乱雲の発達を確認できると、数分後に落雷の危険を伴います。
- ウ 雷鳴が、かすかにでも聞こえ始めたら、落雷の危険が高まります。
- エ 落雷の危険は雷雲が消滅するまで続くため、気象情報を確認しながら活動を再開します。

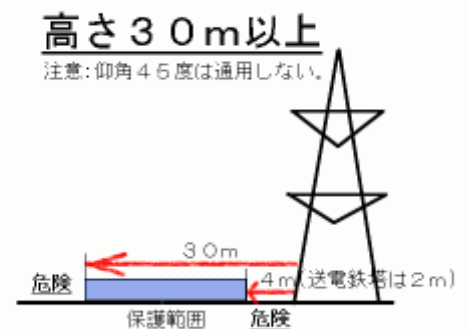
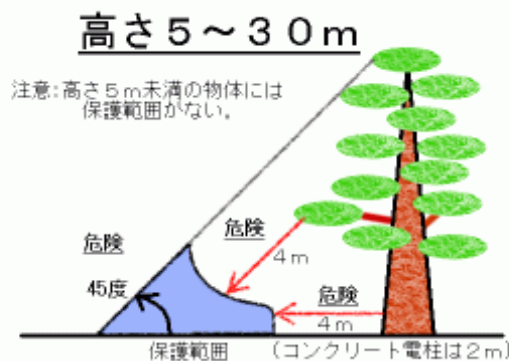
(2) 雷から身を守る安全な場所について

ア 安全性が高い場所

- (ア) 鉄筋コンクリート建築物、戸建て住宅などの本格的木造建築物。
- (イ) 屋根が金属でできている自動車・バス・列車・飛行機の中

イ 緊急時に安全性が高い場所 ※ 100%安全ではなく、5%以内の危険性があります。

- (ア) 高さ5～30mの物体(樹木、建物、ポール、電線、電柱)の保護範囲
 - ・ 物体から4m以上離れた場所(コンクリート電柱は、2m以上で十分)
 - ・ 張り出している葉や小枝から4m以上離れた場所
 - ・ 物体のてっぺんを見上げる角度(仰角)が45度以上の場所
 - ・ 姿勢を低くします(両足を揃えてしゃがみ、指で両耳穴をふさぐ)。
 - (イ) 高さ30m以上の物体(高層建築物、クレーン、煙突、送電線の鉄塔)の保護範囲
 - ・ 物体から、4m以上離れた場所(送電線の鉄塔は、2m以上で十分)
 - ・ 張り出している葉や小枝から4m以上離れた場所
 - ・ 物体から30m以内の場所
 - ・ 姿勢を低くします(両足を揃えてしゃがみ、指で両耳穴をふさぐ)。
 - (ウ) 橋の下・乾いた窪地や溝
 - ・ 姿勢を低くします(両足を揃えてしゃがみ、指で両耳穴をふさぐ)。
- ※ 雨水の流入で、おぼれない確信がある場所で行います。



ウ 安全性が低い場所

(ア) 林や森の中では、木がまばらなところ

- ・ 幹だけでなく、張り出している葉や小枝などからも出来るだけ離れます。
- ・ 姿勢を低くします(両足を揃えてしゃがみ、指で両耳穴をふさぐ)。

(イ) 湿った窪地や溝

- ・ 姿勢を低くします(両足を揃えてしゃがみ、指で両耳穴をふさぐ)。
- ※ 雨水の流入で、おぼれない確信がある場所で行います。

(ウ) 避雷針設備のない山小屋・トタン屋根の仮小屋・東屋(あずまや)

- ・ 柱や壁から出来るだけ離れます(柱や壁にもたれていて死亡した例も多い)。

エ 危険な場所(即座に離れ、腰をかがめて出来るだけ低い姿勢で安全な場所へ移動します。)周囲への落雷が激しく、逃げられない時は、その場で両足を揃えてしゃがみ、目を閉じ、指で両耳穴をふさぎます(寝そべると、近くに雷が落ちた時に、地面を伝わる雷でケガをする恐れがあります)。

(ア) 高さ5m未満の物体(樹木・岩など)の周囲

- ・ 保護範囲が無く、かえって危険(側撃雷による死亡事故が多い)。

(イ) 高さ5～30mの物体(樹木、建物、ポール、電線、電柱)の保護範囲外

- ・ 物体から4m未満の場所(側撃雷による死亡事故が多い)の場所
- ・ 物体のてっぺんを見上げる角度が45度未満の場所

(ウ) 高さ30m以上の物体(高層建築物、クレーン、煙突、高圧鉄塔)の保護範囲外

- ・ 物体から4m未満の場所(側撃雷による死亡事故の方が多い)
- ・ 物体から30m以上離れた場所

(エ) 林や森の中(林や森の入り口付近も同様)

木の高さがわからず、保護範囲を目測するのが不可能であり、また、葉や小枝を含むすべての樹木から4m以上離れるのが不可能である(ただし2m以上離れば死亡に至る確率は低くなる)。

(3) 雷被害者の救助

落雷の被害者はその体内に電気をためておらず、救護者が手を触れても感電しない。落雷で動けなくなった人が出たら、下記のように対応する。

- | | |
|---|---|
| ア | 真っ先に、脈拍と呼吸を調べる。 |
| イ | 脈拍と呼吸が止まっている場合 <ul style="list-style-type: none">・ 絶対、諦めてはいけません。日本で、4人以上も生き返っています。・ 直ちに心肺蘇生法を実施します(心臓マッサージと人工呼吸を交互に繰り返す)。
※ 雷に撃たれたときが、心肺蘇生で一番蘇生しやすいと言われています。 |
| ウ | 脈拍と呼吸があっても意識を失っている場合 <ul style="list-style-type: none">・ 肩の下に高さ10cmくらいのものを当てて頭を下げ、気道を確保した上で救急車の到着を待ちます。 |
| エ | 意識がある場合 <ul style="list-style-type: none">・ 鼓膜が破けて耳が聞こえない場合があり、被害者がパニックに陥らないよう落ち着かせて、救急車の到着を待ちます。 |
| オ | 体にやけどを見つけた場合 <ul style="list-style-type: none">※ 水で冷やします。軽度のやけどであれば容易に治ります。※ 水がなければ、冷やす事にこだわる必要はありません。 |

※ 「3 雷発生時の対応について」は、あおば屋ホームページ「雷の知識(落雷対策)」参照
(最終閲覧日：令和6年12月4日、<http://www.aobaya.jp/chishiki.html>)

(4) 井川自然の家での対処法

ア 雷鳴が聞こえたり稲光が見えたりしたら活動を中止してください。

※ 活動の再開は、所員の提供する気象情報等をもと、安全の確認後とします。

イ WR・ハイキングの途中で、上記アのような場合は、事前に決めた場所に児童・生徒を集合させ、最短コースを通り、自然の家に戻ってください。

※ 必ず所員と無線で連絡を取りながら戻ってください。

ウ 人数が多い場合は、あらかじめ設定した集合場所に集まった後、全員でまとまって移動してください。

エ 急な落雷や豪雨になった時は、最寄りの一時避難場所に避難・待機してください。

※ 一時避難場所

スキー場 : レストハウス

ピクニック広場 : あずま屋(落雷時は避けること)

富士見峠 : 見晴らし台、大日峠コースの途中の小さなあずま屋(落雷時は避ける)

キャンプサイト : 各炊飯棟

オ テント泊中の雷や豪雨は多目的ホール(体育館)を避難所として開放します。

Ⅲ 危険動物への対処について

1 クマ

(1) クマに出会わないようにするために

- ア **鈴やラジオ等で音を出しながら歩き、クマにこちらの存在を気付かせます。**
- イ ハイキングコースから外れたり、暗いやぶの中へ入っていきません。
- ウ 集団で行動します。
- エ 生ゴミ(残飯)や食材はすぐに片付けます。
- オ 16時までには自然の家へもどるようにします。
- カ クマが活発になる朝夕の時間帯は活動をさけます。

(2) クマに出会ったら

- ア 距離が離れていたら、落ち着いて、**音をたてずにその場から離れます。**
 - ※ 刺激を与えないようにします。
- イ もし近づいてきたら、大声を出さず、クマの動きをよく見ながら離れます。
 - ※ 背中を見せて走って逃げると追いかけてくる習性があります(リュックサックの持ち物をひとつずつ置いて、クマの気をそらしながら、ゆっくり立ち去る方法もあります。その際、クマが立ち去ってもすぐに荷物を回収しません)。
- ウ 子グマに出会っても近付きません。
 - ※ 親グマがすぐそばにすることがあり危険です。

(3) クマが攻撃してきたら

窪地などに、腹ばいになり、両手を首筋の後ろでしっかりと組み、両肘で顔を守ります。

2 ハチ・アブ

(1) ハチやアブにねらわれないために

- ア **黒い色の物、ひらひらする物を身に付けません。**
 - ※ 白や銀色の物には、ほとんど反応しません。
- イ 蚊よけ用の超音波発信器、香水、化粧品、ヘアスプレー等は、ハチを興奮させるので身につけません。
- ウ ジュースや飲料水等を餌にしているスズメバチもいるので注意してください。
- エ 黒色以外の帽子をかぶり、首の周りはタオル等でカバーするなど、なるべく肌を露出しないようにします。
- オ アブは、屋外の直射日光の下や、早朝と夕刻に活発になるので注意してください。
- カ アブは、市販の虫よけスプレーが効果的です。

(2) ハチ・アブに出会ったら

- ア あわてず低い姿勢をとります。
 - ※ 声高にさわいだり、**はたき落そうとしたりしません。**
- イ 静かにその場から離れます。
 - ※ **スズメバチから「カチカチ」という威嚇音が聞こえたら大変危険**です。速やかに離れましょう。

(3) ハチやアブに刺されたら

- ア ハチは針を取り除きます。
 - ※ アブは噛むので針はありません。ポイズンリムーバーは自然の家にありますので、所員にお声掛けください。
- イ 体内から毒を出します。
 - ※ **口で吸ってはいけません。**ポイズンリムーバーを使って血液とともに毒を吸い出します。
- ウ 水で刺された場所を洗い流し、氷で冷やします。
 - ※ 水で洗い流すとき、手などで強くこすったりしません。
- エ 軟膏を塗ります。
 - ※ 弱い副腎皮質ホルモン入り軟膏、又は、かゆみ止め軟膏が効果的。
- オ 軟膏を塗った後も、氷で冷やします。ひどくなったら医療機関で受診しましょう。

※ 刺された後、冷や汗が出たり、心拍数が増えたり、顔色が青くなったりするような場合は、アナフィラキシーショックの可能性があるため、すぐに救急車を呼びます。



アシナガバチ



アブ



スズメバチ

3 マムシ・ヤマカガシ

(1) マムシ・ヤマカガシに出会わないようにするために

ア ハイキングコースから外れません。

イ 石の下、草の中、倒木周辺、水辺、枯れ草の足元に注意してください。

(2) マムシ・ヤマカガシに出会ったら

ア 近付きません。

※ ヘビとの距離が **1 m以内になると大変危険**です。

イ 速やかにその場から離れます。

※ 一般的に刺激を与えなければ襲ってきません。

(3) マムシ・ヤマカガシにかまれたら

ア あわてて動き回らずに安静にします。

※ 動き回ると毒のまわりが早くなってしまう恐れがあります。

イ 傷口より心臓に近い場所に軽く止血帯をかけます。

※ 止血帯は、採血をするとき程度の強さでかけます。**体内の組織が壊死しないように20分に1度はゆるめます。**

ウ 体内から毒を出します。血液とともに毒を吸い出し消毒します。

※ **口で吸ってはいけません。**ポイズンリムーバーを使って血液とともに毒を吸い出します。

エ 水でかまれた場所を洗い流し、氷で冷やします。

※ 水で洗い流すとき、手などで強くこすったりしません。

オ すぐに医療機関で受診します。



マムシ
※縞模様あり

4 ヤマビル

(1) 被害が多くなる時期・場所

ア 4月～10月に被害があり、特に6月～9月の気温・湿度が高く、ジメジメとした時期に被害が多いです。

イ 直射日光が当たらない草むらに多く、靴につき、靴下の中、ズボンの下に入り込むことが多いです。まれに木の上から落ちてくることもあります。

【特に注意の必要な場所】

- ・ ピクニック広場から口坂本までの大日古道
- ・ 富士見峠からピクニック広場までのハイキング道（缶ポストラリー・コース）
- ・ ピクニック広場の草むら ・ 井川本村の廃線小路 ・ 渡船場コース
- ・ 営火場周辺や希望が丘キャンプサイトパネル付近、バンガロー周辺、駐車場周辺、所内の草むら

(2) 血を吸われないために

ア 長袖、長ズボン、帽子、長めの靴下を着用し、**なるべく肌を露出しないようにします。**

イ 塩水(濃度20%以上)やヒル除けスプレーを靴や靴下、ズボンの裾等に吹き付けます。

※ ヒル除けスプレーはアレルギー反応を起こす場合がありますので注意してください。

ウ 休憩や館内に入る前に、ヒルが付いていないかを細目に確認してください。

※ ヒルが付いていたら塩やヒル除けスプレーをかけて駆除してください。

(3) 血を吸われたら

ア 塩またはヒル除けスプレーをかけて肌から落とします。

※ 傷跡が残ったり、かゆみの原因になったりする場合があるため、**肌から無理に引き離さないようにしてください。**

イ 水で吸われた場所を洗い流し、出血箇所を消毒した後、絆創膏を貼って止血します。

※ 水で洗い流すとき、手などで強くこすったりしません。

ウ 他にもヒルが付いていないか、靴の中、靴下の中、ズボンの裾を確認してください。

※ ヒルが付いているのを見つけたら塩やヒル除けスプレーをかけて駆除してください。

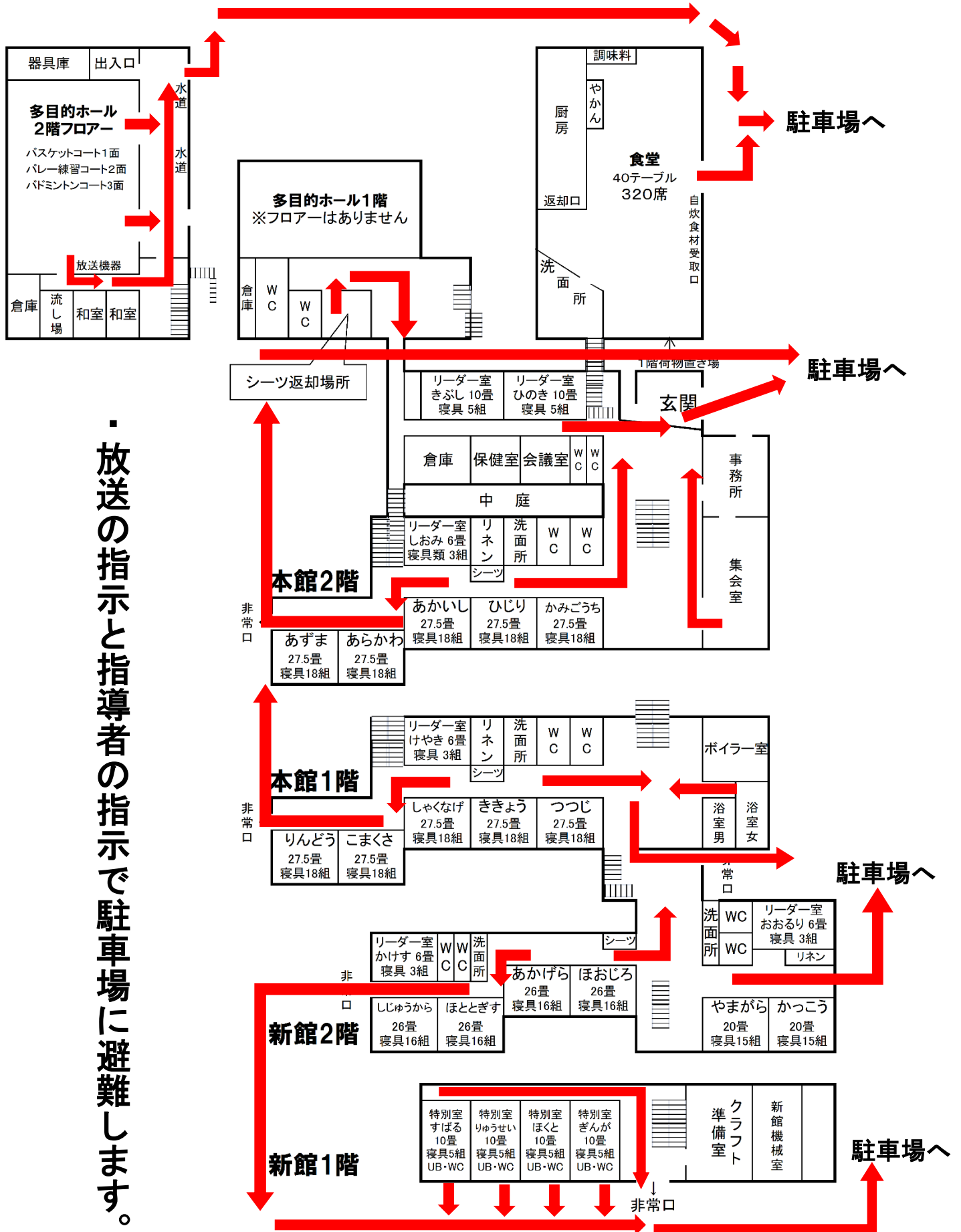


ヤマカガシ
※ 縞模様に朱点あり



ヤマビル

IV 避難経路図



・放送の指示と指導者の指示で駐車場に避難します。

井川自然の家 アクセスマップ



令和9年度供用予定
トンネル(工事中)

横沢経由 <おおよその時間>

- 静岡市役所前 → 玉機橋 …… 30分
- 玉機橋 → 横沢バス停 …… 20分
- 横沢バス停 → 富士見峠 …… 30分
- 富士見峠 → 井川自然の家 …… 10分

口坂本経由 <おおよその時間>

- 静岡市役所前 → 玉機橋 …… 30分
- 玉機橋 → 旧玉川中 …… 10分
- 旧玉川中 → 口坂本温泉 …… 30分
- 口坂本温泉 → 井川自然の家 …… 30分

横沢経由の方が、
(189号三ツ峰落合線)
道幅が広く
運転しやすいです



閑蔵経由 <おおよその時間>

- 島田金谷IC → 千頭駅 …… 60分
- 千頭駅 → 奥大井湖上駅 …… 20分
- 奥大井湖上駅 → 井川駅 …… 20分
- 井川駅 → 井川自然の家 …… 20分

